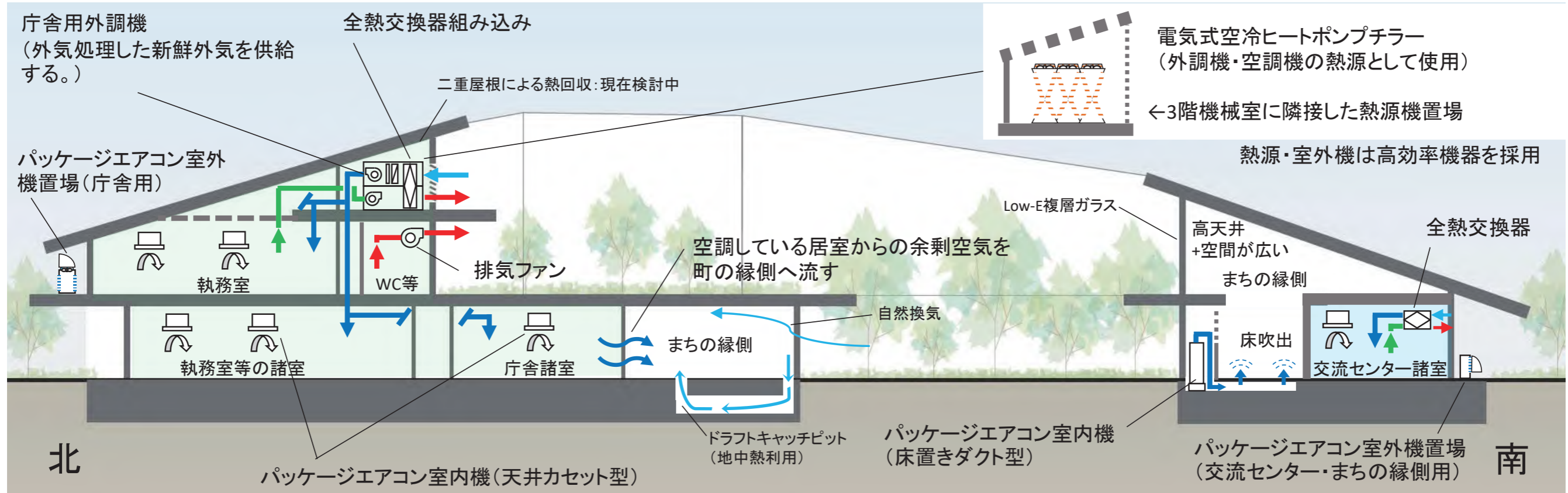


4-1. 建物の空調方式の考え方について - 執務室などの諸室・交流センター諸室・まちの縁側



■各エリアの空調方式選定理由

倉舎の執務室等の諸室と交流センターは運用が異なるため、空調方式も運用に合わせた異なる方式を選定する。
 まちの縁側は建物利用者が屋外から来る空間になるため、外気と室内の中間領域として省エネ性に配慮した空調方式とする。

・執務室等の諸室

執務等で常時人がいる空間 ⇒ 適切な冷暖房・換気が必要となる。
 ⇒ 冷暖房: パッケージエアコン、換気: 外調機にて温湿度を適切にコントロールする。

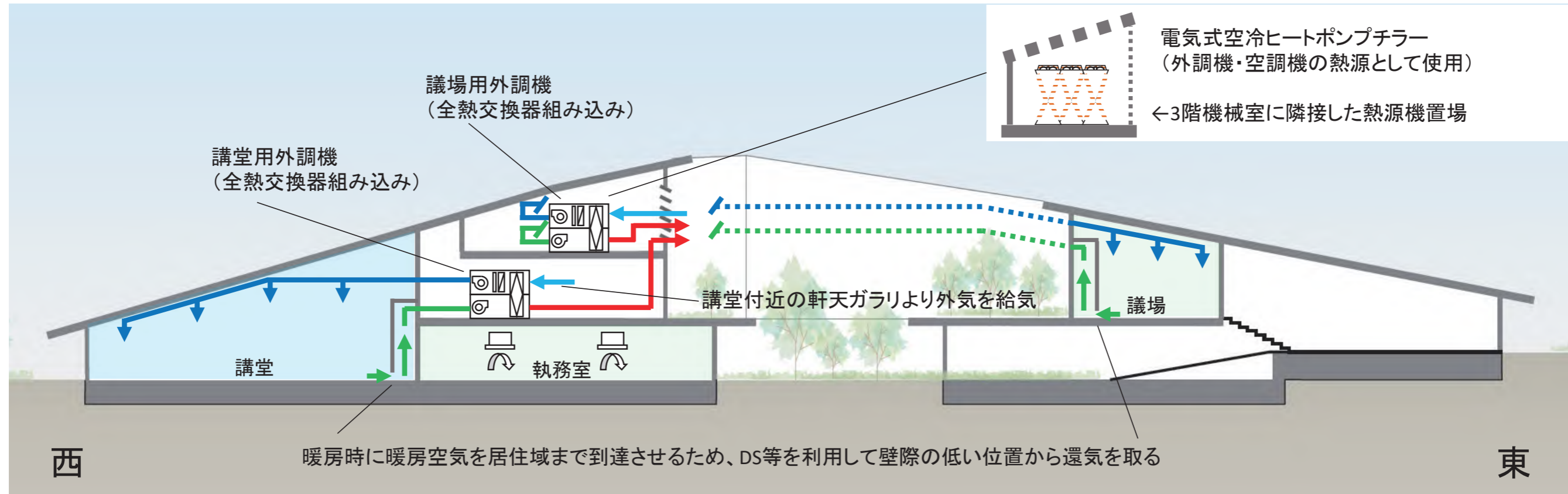
・交流センター諸室

クラブ活動等で随時利用される居室空間 ⇒ 適切な冷暖房・換気が必要となるが、利用は倉舎とは異なり随時利用となる。
 ⇒ 冷暖房: 個別パッケージエアコン、換気: 随時運用に適した個別換気的全熱交換器

・まちの縁側

執務室や交流センター諸室と外気の中間領域となる空間
 ⇒ 外部からの負荷の緩衝帯としての役割と外から入ってきた人に合わせた室内環境とすることで省エネ性に配慮した空間とする。
 ⇒ 空調された居室からの余剰空気を流すことによる成行空調を行う。
補助空調として部分的に空調エリアを設定し、省エネに配慮した床吹出による居住域空調を行う。

4-1. 建物の空調方式の考え方について - 議場・講堂



執務室等諸室の空調方式は前述したパッケージエアコン+外調機となるが、議場と講堂は空間・用途の特性から異なる空調方式を選定している。

■ 議場・講堂の空調方式選定理由

議場及び講堂についてはどちらも床面積が大きい・天井高が高い・収容人数が多いという特徴がある。大風量の外気処理に加えて、室内負荷の処理も行うことができる空調機方式とする。

・ 議場

3階の機械室に空調機を設置し、3階ダクトを展開し、議場の天井から空調空気を給気、DSを利用して、壁の下部から還気を取ることで、暖房時も居城域が暖まるように配慮する。

・ 講堂

2階の講堂用空調機械室に空調機を設置し、2階天井レベルより、給気ダクトを講堂上部へ展開し、空調空気を天井より給気する。DS及びロールバックチェアの収納部を利用することで、壁の下部より還気を取り、暖房時に居城域が暖まるように配慮する。

4-2. 熱源比較表







空調設備の主要熱源システムについて、A, B, C案の比較を行う。

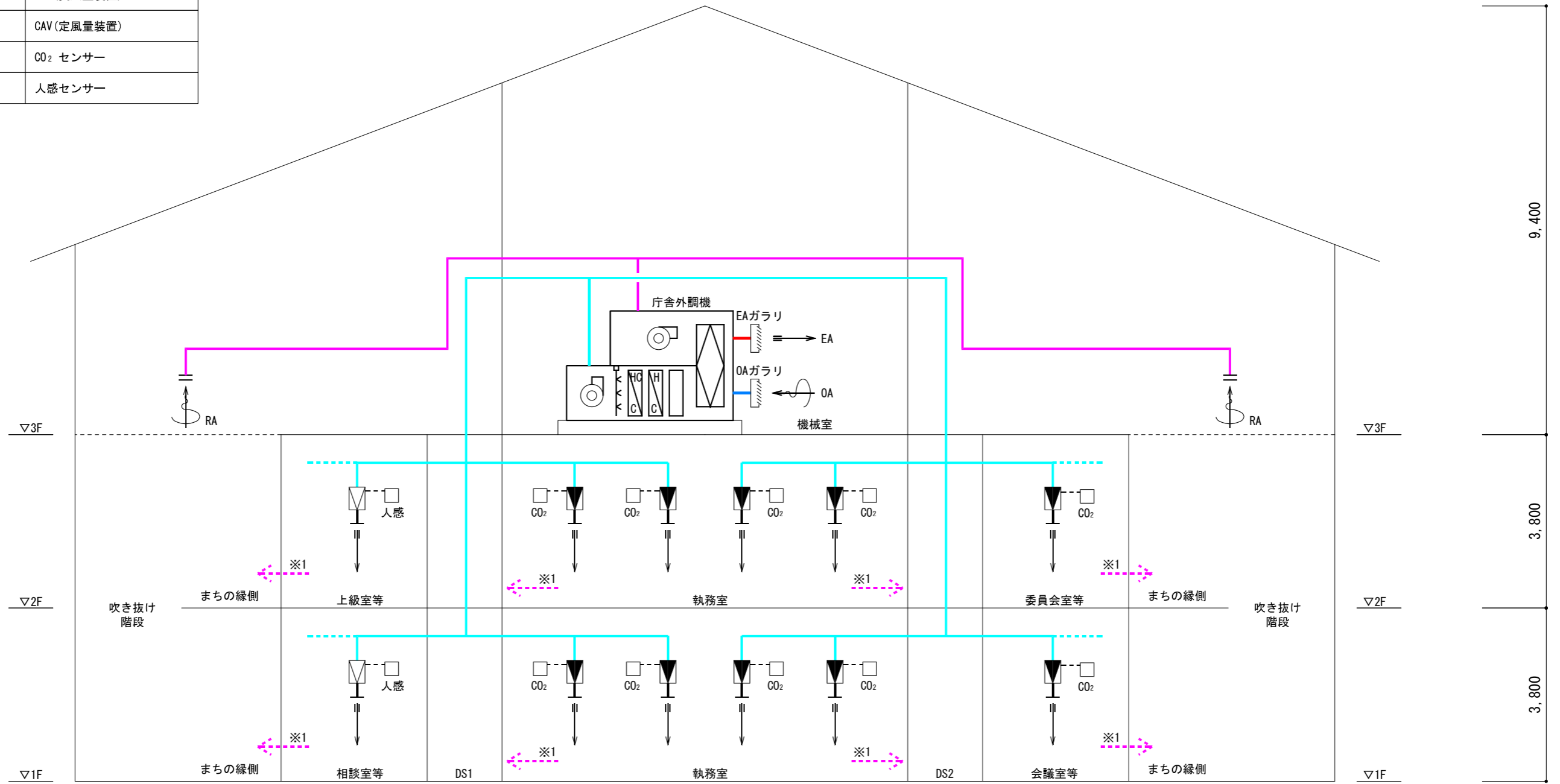
室内負荷については庁舎・交流センターを含めた建物全体とし、換気負荷については庁舎用の外調機と議場空調機及び講堂用空調機を対象に試算を行う。

項目		主熱源		A案 個別電気式空冷HPパッケージ方式+空冷HPチラーユニット 採用	B案 個別ガスHPパッケージ方式+空冷HPチラーユニット	C案 個別電気式空冷HPパッケージ方式+空冷HPチラーユニット +地中熱利用			
システムフロー									
主要構成機器				室内負荷 換気負荷 電気式空冷ヒートポンプマルチ室外機 電気式空冷HPチラーユニット					
経済性	ランニングコスト	イニシャルコスト	◎	100	○	122	△	160	
		電力消費量		368,395 kWh/年		137,329 kWh/年		361,826 kWh/年	
		ガス消費量		0 Nm3/年		22,325 Nm3/年		0 Nm3/年	
		維持管理費	○	100	△	104	◎	98	
		機器更新費用	◎	100	△	208	○	108	
30年LCC		◎	100	△	125	○	110		
環境保全性	エネルギー資源の有効利用への対応	グリーン化	○	100 (144 t-CO2/年)	△	130 (188 t-CO2/年)	◎	98 (141 t-CO2/年)	
		エネルギーの効率的利用への対応	○	台数制御による機器の効率利用	○	台数制御による機器の効率利用	○	台数制御による機器の効率利用	
		搬送エネルギーの低減への対応	○	台数が細分割されているためよい	○	台数が細分割されているためよい	○	台数が細分割されているためよい	
安全性・信頼性	災害応急対策		○	電気の復旧は比較的早い	○	バルクタンク残量+LPG搬送により対応可能	○	電気の復旧は比較的早い	
	メンテナンス性		○	重要系統は別途非常用発電機で電源供給	○	重要系統は別途非常用発電機で電源供給	○	重要系統は別途非常用発電機で電源供給	
保全性	メンテナンス性		○	電気式熱源のためGHPに比べるとメンテナンス性に優れる	△	GHP室外機の運転時間に合わせたメンテナンスが必要	○	電気式熱源のためGHPに比べるとメンテナンス性に優れる	
	△		複数熱源となり機器設置場所が増える						
その他	立地条件	インフラの整備状況	○	電力の引き込みあり	△	バルクタンクの設置が必要	○	電力の引き込みあり	
総合評価				◎ イニシャルコストが一番安い ランニングコストが二番目に安い 機器更新費用が一番安い CO2排出量が二番目に少ない 30年LCCが一番安い ◎ イニシャルコスト及び30年LCCが一番安く、維持管理費及びCO2排出量についてC案と差が小さいことよりA案を提案する。			△ イニシャルコストは二番目に安い ランニングコストも一番高い 機器更新費用が一番高い GHPの機器制約上耐用年数が13年のため、30年のうちに2回の更新が想定される CO2排出量が1番大きい 30年LCCが一番高い		
注)				・ 数値比較はA案を基準100として指数表示 ・ 各エネルギー単価については、電気料金は中部電力HPから、ガス料金はプロパンガス料金消費者協会HPの軽井沢町の適正価格から参照 ・ ライフサイクルコストはLC=30年とした。また、金額はイニシャルコストに対し、撤去・処分・搬入据付として20%を計上 ・ 上記コスト等についてはあくまで机上試算の値である ・ イニシャルコスト・ランニングコストについては熱源機器の金額となり、室内機や空調機・外調機等の2次側機器及び配管・ダクト等は含まない。					

4-3. ダクト系統図

凡例

	SOAダクト(外気処理給気)
	RAダクト(還気)
	OAダクト(外気)
	EAダクト(排気)
	VAV(変風量装置)
	CAV(定風量装置)
	CO ₂ センサー
	人感センサー



※1 部屋からの還気はまちの縁側又は廊下へのパス

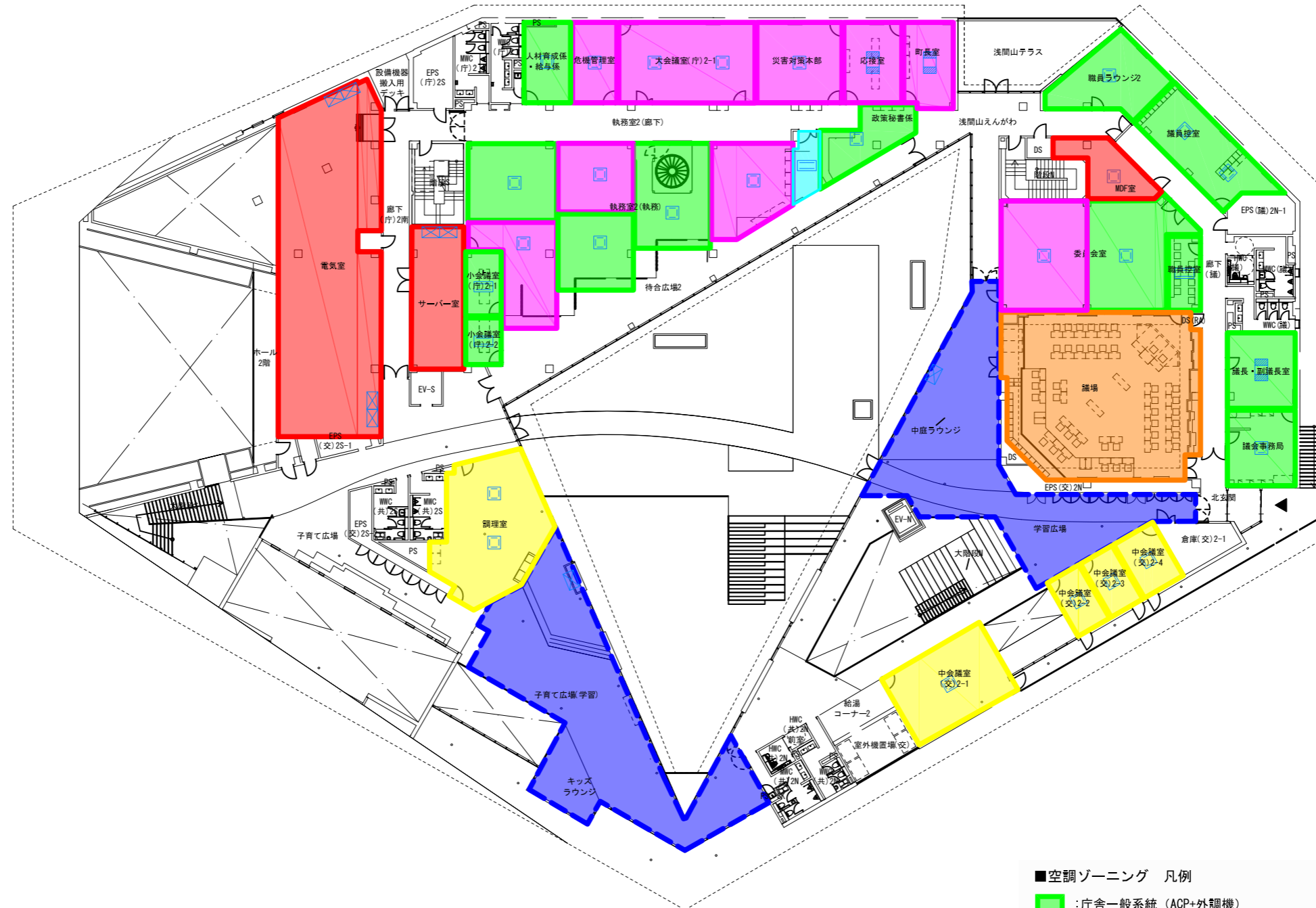
4-4. 空調ゾーニング図

1階



- 空調ゾーニング 凡例
- : 庁舎一般系統 (ACP+外調機)
 - : 庁舎BCP対応系統 (ACP+外調機:発電機対応)
 - : 議場系統 (空調機)
 - : 共用系統 (ACP:発電機対応+外調機) *カフェを除く
 - : 講堂系統 (空調機:発電機対応)
 - : 交流センター系統 (ACP:発電機対応+全熱交換器)
 - : まちの縁側系統 (ACP床吹出)
 - : 単独系統 (ACP:発電機対応) *居室の換気は全熱交換器
 - : 単独系統 (ACP+全熱交換器)
 - : ACP室内機 天井カセット形4方向
 - : ACP室内機 天井カセット形2方向
 - : ACP室内機 天井カセット形1方向
 - : ACP室内機 天井埋込形
 - : ACP室内機 床置ダクト

4-4. 空調ゾーニング図



- 空調ゾーニング 凡例
- :庁舎一般系統 (ACP+外調機)
 - :庁舎BCP対応系統 (ACP+外調機:発電機対応)
 - :議場系統 (空調機)
 - :共用系統 (ACP:発電機対応+外調機) *カフェを除く
 - :講堂系統(空調機:発電機対応)
 - :交流センター系統 (ACP:発電機対応+全熱交換器)
 - :まちの縁側系統 (ACP床吹出)
 - :単独系統 (ACP:発電機対応) *居室の換気は全熱交換器
 - :単独系統 (ACP+全熱交換器)
 - :ACP室内機 天井カセット形4方向
 - :ACP室内機 天井カセット形2方向
 - :ACP室内機 天井カセット形1方向
 - :ACP室内機 天井埋込形
 - :ACP室内機 床置ダクト

2階

4-5. デフロスト運転と対策について

デフロスト運転と対策について

デフロスト運転について、及びパッケージエアコン・熱源機のチラーのメーカーにデフロスト運転と対策機能に関してヒアリングを行った情報を以下にまとめる。

■デフロスト運転とは

- ・除霜運転や霜取り運転とも呼ばれ、室外機等の熱交換機に付着した霜を取り除く機能のことを表す。
- ・暖房運転を行うと、室外機で外から熱を奪うため、室外機からの排気が冷気となり、周囲の気温が低い状態が続くと、熱交換器に霜が付き、熱交換の効率が落ちることや電力消費量が増えてしまう問題が起こる。
- ・上記状態にならないようにするため、室外機の機能として、デフロスト運転があり、デフロスト運転中は一時、室内側で暖房運転を停止し、室外機側で霜を取る運転をすることで霜を取り除く。

■パッケージエアコンメーカーのデフロスト運転の比較

以下に各エアコンメーカーのデフロスト運転の比較表を示す。

※ヒアリングを行った内容を基に記載。

※各メーカー室外機は寒冷地仕様の内容を記載。

※デフロスト運転中は室内機のファンの運転は停止となる。

メーカー	M社	D社	H社
デフロスト運転に入る最短間隔	50分	約60分	30分
デフロスト運転の最大時間	12分	約15分	10分
デフロスト運転に関する対策機能	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房プレヒート機能 デフロスト運転に入る前に室温を設定温度より一時的に高くすることで、デフロスト運転中の温度低下を抑制 ・デフロスト運転タイミングの室外機連携機能 同じ部屋に2系統の室外機を設置し、デフロスト運転に入るタイミングをずらした制御をすることで部屋の温度低下を抑制する 【ビル用マルチエアコン限定機能】 ・デフロスト運転スケジュール機能 例えば開庁前にデフロスト運転を行うことにより、日中デフロスト運転に入りやすくする 【店舗用エアコン限定機能】 ・熱交換器分割デフロスト運転機能 2つの熱交換器を別々のタイミングでデフロスト運転させることで、暖房運転を停止させない運転が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・デフロスト学習機能 デフロスト運転に入った条件をもとに、次のデフロスト運転のタイミングを予測し、可能な限りタイミングを遅らせる 【ビル用マルチエアコン限定機能】 ・室外マルチデフロスト機能 2台以上のユニットで交互にデフロスト運転することで能力低下を抑制 ・停止前デフロスト機能 運転停止操作と同時にユニット停止前にデフロスト運転を行い、次回運転開始時からのデフロスト運転に入るまでの時間を延長 【店舗用エアコン限定機能】 ・サーモオフデフロスト機能 サーモオフ中に着霜していた場合、同時にデフロスト運転にも入る機能。室温低下する機会を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホットガスバイパス機能 着霜量が少ない場合の機能で、室外機の圧縮機の排熱を利用して霜取り対応。暖房運転を継続することができる。 ・デフロスト運転タイミングの室外機連携機能 同じ部屋に2系統の室外機を設置し、デフロスト運転に入るタイミングをずらした制御をすることで部屋の温度低下を抑制する 【ビル用マルチエアコン限定機能】 ・停止前デフロスト機能 運転停止操作と同時にユニット停止前にデフロスト運転を行い、次回運転開始時からのデフロスト運転に入るまでの時間を延長

⇒各社デフロスト運転への対策機能を実装している。

4-5. デフロスト運転と対策について

■チラーメーカーのデフロスト運転の比較

以下に各チラーメーカーのデフロスト運転の比較表を示す。

※ヒアリングを行った内容を基に記載。

※M社及びN社は寒冷地仕様のチラーを想定、D社は寒冷地仕様がないため、標準機で参考ヒアリングした内容を記載

メーカー	M社	N社	(D社)
デフロスト運転に入る最短間隔	40分	20分	約60分
デフロスト運転の最大時間	15分	10分	30分
デフロスト運転に関する対策機能	<ul style="list-style-type: none"> ・2/4の冷媒系統がデフロスト運転 ・複数台連結によるデフロスト運転のタイミングをずらした運転機能 ⇒チラー単体ではデフロスト運転中の能力が出ないが、複数台のチラーを用いることで、熱源全体でデフロスト運転を分散させることができ、50%以上の能力で運転が可能	<ul style="list-style-type: none"> ・1/4の冷媒系統がデフロスト運転 ⇒チラー単体でデフロスト運転中でも50%能力運転が可能。	<ul style="list-style-type: none"> ・2/4の冷媒系統がデフロスト運転 ・同時デフロスト系統・台数制限機能 ⇒チラー単体ではデフロスト運転中の能力が出ないが、複数台のチラーを用いることで水温低下を抑制することが可能。

⇒熱源のチラーを2台以上で構成した場合、部分的にデフロスト運転が起こったとしても、寒冷地仕様があるメーカーにおいて50%以上の能力での運転継続は可能。

■空調方式による本計画のデフロスト対策

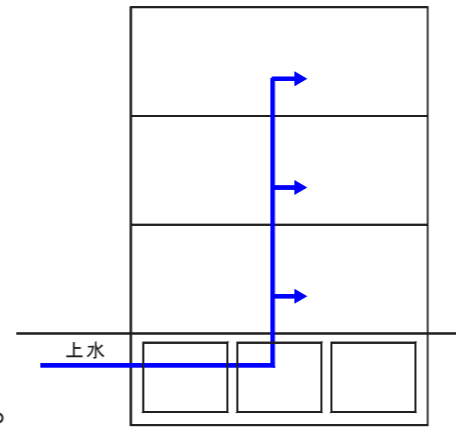
- ・庁舎は主にパッケージエアコン+外調機方式を採用しているため、エアコン室外機がデフロスト運転に入ったとしても、外調機側の熱源のチラーがデフロスト運転ではない可能性があり、リスクを分散している。
- ・熱源のチラーについては寒冷地仕様で2台以上のチラーで構成すれば、熱源が同時にデフロスト運転に入ることは無く、能力50%以上を確保して外気を温調することは継続してできるため、室温低下を抑制することができる。

4-6. 給水方式について

■ 給水方式の種類

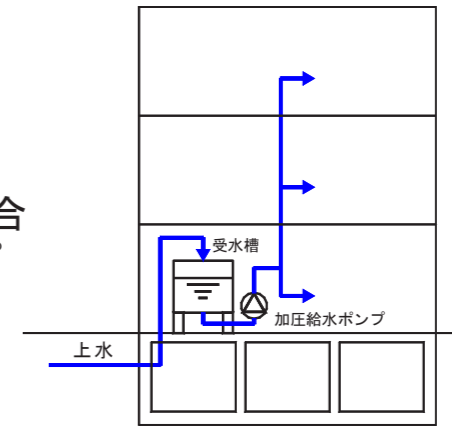
直結送水方式

- ・特徴: 水道本管から直接、建物に水を送る方式。(建物規模・水道本管圧力によっては直結増圧ポンプが必要)
- ・メリット: タンク不要のためメンテナンスが少ない。
- ・デメリット: 大地震等で水道本管が破断した場合、給水できなくなる。



受水槽方式

- ・特徴: 一度、建物内にあるタンク(受水槽)に水をためてから、加圧給水ポンプで建物内に給水する方式。
- ・メリット: 大地震等で水道本管が破断した場合でも水槽内の水を利用できる。ポンプを発電機対応とするれば建物内へも給水可能である。
- ・デメリット: タンクの掃除や管理等のメンテナンスが必要。



■ 給水方式の選定

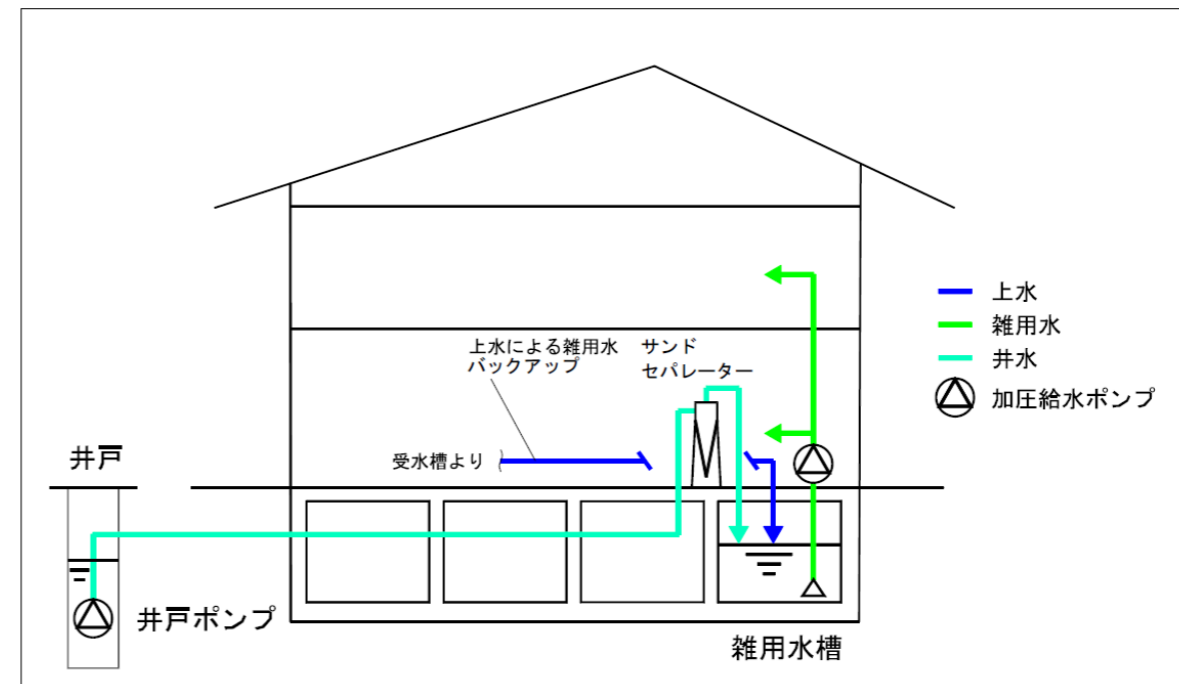
以下の点を考慮して給水方式を選定する。

- ・建築設備設計基準(令和6年版)に「甲類の耐震安全性を要求される施設は、～、原則としてタンク方式とする。」と記載されている。本設計では庁舎の建築設備が甲類に該当する。
- ・BCP計画において、受水槽を設置することで、水道本管断水時にもタンク内の水を利用できるため有効である。

上記を踏まえて本計画では**受水槽方式**を採用する。

設置場所については屋根の高さの関係及び2階設置要求の部屋の多さ(浸水が許されない電気室等を含めて)のため、1階に受水槽を設置するが、基礎高さ及び必要に応じて防水堤+釜場を設けることで、複数の水没対策を行う。

本計画の給水フローイメージ図



4-7. 雑用水給水方式比較表

トイレの洗浄水に用いる雑用水の原水に関してA,B,C案の比較を行います。

前提条件：排水の中水利用は規模が50,000㎡以上、または特殊排水（厨房除外など）がある場合はコストメリットが出てきますが、これらの条件に該当しない本案件ではイニシャル・ランニング共にコストメリットがないことから検討対象外としています。

	A案 上水		B案 雨水		採用 C案 井水(※) (※:地下水から井戸ポンプで汲み上げた水)	
システムフロー						
概要	雑用水原水として、上水(水道水)を使用する。上水を雑用水槽に貯め、雑用水槽から加圧給水ポンプで雑用水供給を行う。		雑用水原水として、雨水を使用する。屋根のルーフトレンドレンから雨水を回収し、縦樋を経由してビットの雨水貯留槽へ貯留する。雨水貯留槽からポンプアップを行い、ろ過装置を通して、雑用水槽に貯め、雑用水槽から加圧給水ポンプで雑用水供給を行う。		雑用水原水として、井水を使用する。井戸を新設し、井戸ポンプを用いて井戸水をポンプアップし、砂取り用のサンドセパレーターを通し、雑用水槽に貯める。雑用水槽から加圧給水ポンプで雑用水供給を行う。 事例：軽井沢中学校で採用(既存井戸を活用し雑用水に利用)	
構成設備 ※雑用水槽は共通	・雑用水加圧給水ポンプ ・塩素滅菌装置		・雑用水加圧給水ポンプ ・塩素滅菌装置 ・雨水貯留槽 ・雨水ろ過装置		・雑用水加圧給水ポンプ ・塩素滅菌装置 ・井戸ポンプ ・サンドセパレーター	
災害時対応 ※ポンプへの非常電源対応を前提	水道管破断時には、受水槽残水のみ雑用水槽へ供給可能。 △		水道管破断時には、受水槽残水の供給に加えて、雨水貯留槽に雨水が貯まっている場合は雨水も供給可能 ○		水道管破断時においても井戸水が出なくなる限り、井水の継続供給が可能。受水槽残水も供給が可能。ただし、1日の使用量制限(100m ³ /日)あり。なお、トイレの想定洗浄水量は約28m ³ /日。 ◎	
イニシャルコスト(機械設備) ※雑用水加圧給水ポンプは共通のため含まない	◎		△		△	
ランニングコスト減額効果 (動力・保守メンテナンス代-雑用水利用分の水道料金)	△		雑用水利用率 80% ○		雑用水利用率 100% ◎	
単純回収年数	※回収不可 一年 △		21.2年 ○		13.6年 ◎	
建築計画への影響	・災害時のバックアップが無いため、C案と比較して、より大きい雑用水槽(3日分)が必要。 ・B案、C案と比較して、屋内スペースの機器スペースは縮小可能。 ○		・C案と比較して、雨が少ない時期の被災を想定しバックアップとして大きな雑用水槽(3日分)が必要。 ・ランニングコストの効果を得るには、屋根全体の雨の集水が必要。勾配屋根であることから、大量の縦樋を屋外に設置する必要がある。そのうえ、寒冷地のため縦樋が爆裂する恐れがあるという懸念あり。 ・屋根全体の雨水を集水するため、非常に大きな雨水貯留槽が必要。 △		・A案、B案と比較して雑用水槽のコンパクト化(1日分)が可能。 ・外部に井戸を設置するスペースが必要。 ○	
評価	イニシャルコストが最も安い。 一方で、ランニングコストが最も高い。 また、災害時は受水槽残水のみ利用可能となるため、災害時対応策としては他の案に劣る。		イニシャルコストはC案より安い。 保守メンテ等の費用はかかるが水道料金を払わなくて良いため、ランニングコストはA案より安い。 雨水は天候に左右されるため、雑用水への利用率は80%程度が限界。 機器の法定耐用年数(15年)内ではランニングコストを回収できないが、運用や水質に応じては20年以上もつ事例もある。		イニシャルコストが最も高い。 一方で、B案より保守メンテ等の費用が安く、水道料金を払わなくて良いため、ランニングコストは最も安い。 井水のため、100%の雑用水利用率を想定。 機器の法定耐用年数(15年)内でのコスト回収も可能。 井戸掘削時に水質が良いと判明した場合、サンドセパレーターを中止しイニシャルコストを削減できる可能性あり。	

※上記コスト等はメーカーヒアリングや「平成30年版 建築保全業務積算基準及び同解説」、「建築物のライフサイクルマネジメント用データ集 改訂版」の資料を確認の上試算した数値である。

4-8. 給水量計算・水槽容量算定

■給水量概算

第7回設計定例資料の「トイレの考え方・器具数算定」資料の人数を基に各給水量を算定する。

給水量原単位及び上水・雑用水割合については「建築設備設計基準 令和6年版」（以降、茶本R6）を参照して計画している。

□庁舎

対象	人員	給水量	使用時間	給水量	時間平均 予想給水量	参照
	人	L/人・日	h	m3/日	L/h	
職員	285	60	8	17.10	2138	茶本R6
議会エリア	20	60	8	1.20	150	茶本R6
				18.3	2288	

中間値を採用

給水量 (上水) 0.3	給水量 (雑用水) 0.7		
m3/日	L/h	m3/日	L/h
5.13	641	11.97	1496
0.36	45	0.84	105
5.5	686	12.8	1601

□交流センター

対象	人員	給水量	使用時間	給水量	時間平均 予想給水量	参照
	人	L/人・日	h	m3/日	L/h	
利用者（来庁者含む）	530	40	10	21.2	2120	茶本R6

最低値を採用

給水量 (上水) 0.3	給水量 (雑用水) 0.7		
m3/日	L/h	m3/日	L/h
6.4	636	14.8	1484

■水槽容量算定

・上水受水槽	給水量(上水)	11.9 m3/日	×	0.5 (日使用水量の50%)	=	5.9 m3	→水槽有効容量	6 m3	
・雑用水槽	給水量(雑用水)	27.7 m3/日	×	1 (日使用水量の100%)	=	27.7 m3			
	災害時活動+一時避難人数	610 人	×	30 L/人・日	×	1 日間=	18.3 m3		
				大きい方		27.7 m3	→水槽有効容量	30 m3	
・緊急排水槽		610 人	×	34 L/人・日	×	7 日間=	145.18 m3	→水槽有効容量	150 m3
・消火水槽	屋内消火栓	2.6 m3/箇所	×	2 箇所=		5.2 m3			
				合計		5.2 m3	→水槽有効容量	10 m3	

(2m×3m×1.5mH [有効水深1m])

井水利用

非常時の雑用水利用量：30 L/人・日（茶本R6）

ピット水槽 15m3×2

ピット水槽 非常時の雑用水利用量+飲料水利用量：30+4 L/人・日（茶本R6）

ピット水槽

□引込管径・量水器算定

	時間平均	→÷60
	L/h	L/min
引込管	4408	73
(庁舎)	2288	38
(交流センター)	2120	35

右表より

管径 40A 量水器 40A

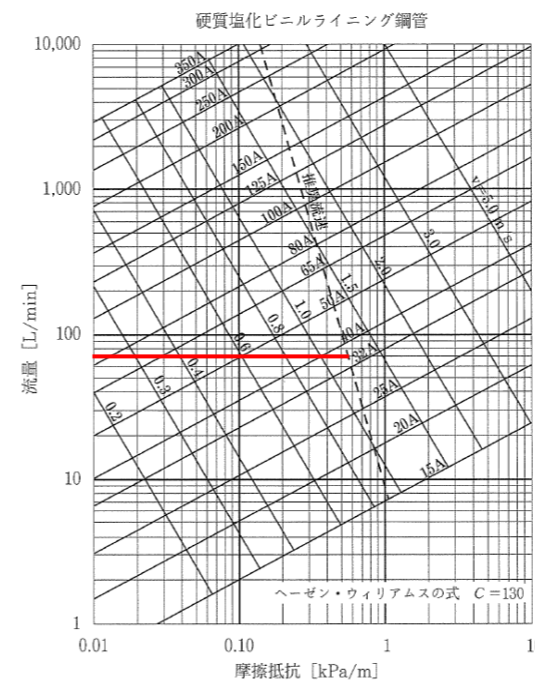


図7-2 配管摩擦抵抗線図

【水道メーター型式別適正使用流量表 (参考)】

JIS Q _s	Q _s /Q ₃ (R)	呼び径	適正使用 流量範囲 (m ³ /h) ※1	一時的使用の 許容流量(m ³ /h)※2		1日当たりの 使用量(m ³ /日)※3			月間 使用量 (m ³ /月) ※4	
				10分日 以内の 場合	1時間日 以内の 場合	1日使用時 間の合計 が5時間 のとき	1日使用時 間の合計 が10時間 のとき	1日24時 間使用の とき		
2.5		接続流	13	0.1~1.0	2.5	1.5	4.5	7	12	100
4	20		0.2~1.6	4	2.5	7	12	20	170	
6.3	25		0.23~2.5	6.3	4	11	18	30	260	
10	30		0.4~4.0	10	6	18	30	50	420	
16		たて型	40B	0.4~6.5	16	9	28	44	80	700
40	50		1.25~17.0	50	30	87	140	250	2,600	
63	75		2.5~27.5	78	47	138	218	390	4,100	
100	100		4.0~44.0	125	74.5	218	345	620	6,600	

※接続流の呼び径40Aについては、定格最大流量(Q_s)16m³/hの性能が確保できないため、呼び径30と同じ10m³/hで表すこととなる。

10	100	接続流	40A	0.5~4.0	10	6	18	30	50	420
----	-----	-----	-----	---------	----	---	----	----	----	-----

(一般社団法人日本計量機器工業連合会の資料による。)

4-9. インフラ引込計画図

□基本的な考え方

- ・給水
 - …既存引き込みの老朽化を考慮し、新規引き込みを行う。
 - 1敷地1引き込みの原則に則り、新規引き込みは1か所とする。
- ・排水
 - …勾配の取れる範囲で集約した上で下水道本管に接続する。
 - 別途工事で位置調整を行う予定の庁舎の既設公設樹へ接続する。
- ※散水系統の給水ルート及び排水ルートの詳細については外構計画に合わせて今後調整予定
- ・井水
 - …新庁舎の近傍に井戸を新設する。
 - 井戸ポンプにより井水を新庁舎の雑用水槽へ供給する。

凡例

- 給水
- 排水
- 井水
- 水道本管
- 下水道本管
- 量水器



4-10. 水廻り器具イメージ

<p>■ 大便器【各階 トイレ(男)、トイレ(女)】</p> <p>再生水仕様 壁掛式</p>  <p>温水洗浄便座 * 便ふたなし * 振音装置付</p> <p>温水洗浄便座リモコン 棚付二連紙巻器 * 発電式 「エコリモコン」</p> <p>壁掛大便器セット フラッシュタンク式</p> <p>イメージ</p> <p>停電時 洗浄レバー</p> <p>センサースイッチ (非接触) * AC100V</p> <p>ベビーチェア L型手すり</p> <p>建築工事想定</p>	<p>■ 小便器【各階 トイレ(男)】</p> <p>水道水・再生水兼用仕様 壁掛式</p>  <p>壁掛壁排水自動洗浄小便器</p> <p>小便器用手すり * 男子各1ヶ所</p> <p>フック</p> <p>(掃除口イメージ)</p> <p>建築工事想定</p>															
<p>■ だれでもトイレ</p> <p>再生水仕様 壁掛式</p>  <p>ベビーチェア</p> <p>温水洗浄便座 * 便ふたなし * 温風乾燥 * 金属ベースプレート</p> <p>タッチスイッチ + エコリモコン * 発電式</p> <p>化粧鏡 (600×900)</p> <p>フィッティングボード * 全ブース設置</p> <p>フック * 2個</p> <p>建築工事想定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>器具</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大便器、温水洗浄便座、タッチスイッチ+エコリモコン、背もたれ、手すり、汚物入れ、紙巻き器、フック</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>オストメイト用汚物流し (電気温水器○)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>洗面器 (電気温水器○)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>手洗器 (電気温水器×)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィッティングボード</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ベビーチェア</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>コンパクト多機能トイレパック・壁掛式 (汚物流し・ベビーチェア・フィッティングボードあり)</p> <p>イメージ</p> <p>フィッティングボード</p>	器具	有無	大便器、温水洗浄便座、タッチスイッチ+エコリモコン、背もたれ、手すり、汚物入れ、紙巻き器、フック	○	オストメイト用汚物流し (電気温水器○)	○	洗面器 (電気温水器○)	○	手洗器 (電気温水器×)	○	フィッティングボード	○	ベビーチェア	○	<p>■ 洗面器【各階 トイレ】</p>  <p>カウンターボウル一体タイプ</p> <p>自動水栓〔単水栓〕 * AC100V</p> <p>建築工事想定</p>	<p>■ 水栓【各階 給湯室、ベビールーム】</p>  <p>シングルレバー混合栓</p> <p>電気温水器(25L) * 飲料・洗い物用 * 自動給排水 * ウィークリータイマー</p> <p>給湯室は熱湯栓有り、給湯室以外は熱湯栓無し</p>
器具	有無															
大便器、温水洗浄便座、タッチスイッチ+エコリモコン、背もたれ、手すり、汚物入れ、紙巻き器、フック	○															
オストメイト用汚物流し (電気温水器○)	○															
洗面器 (電気温水器○)	○															
手洗器 (電気温水器×)	○															
フィッティングボード	○															
ベビーチェア	○															
<p>■ シャワー水栓【1階 更衣室】</p>  <p>壁付サーモスタッド混合水栓+シャワーヘッド</p> <p>または ユニットシャワー (建築工事想定)</p>	<p>■ 手洗器①【1階 宿直室、更衣室(男)(女)】</p>  <p>自動水栓〔単水栓〕 * AC100V * ワンプッシュ式</p>	<p>■ 流し台【各階 給湯室】</p>  <p>流し台・吊戸棚 * シンク、水切り棚、収納等</p> <p>建築工事想定</p>														

第5章 ライフサイクルコスト・法令

5-1. ライフサイクルコスト 各年概算表

税抜(千円)	合計 (LCC)	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
建設コスト																										
設計コスト	629,850	629,850																								
新築コスト※	7,045,650	7,045,650																								
工事監理コスト	220,150	220,150																								
計	7,895,650	7,895,650																								
運用コスト																										
光熱水コスト	2,101,200		21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012
計	2,101,200		21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012
保全コスト																										
維持管理コスト	7,395,000		73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950
修繕等コスト (R8基準)	9,475,296			8,408	2,924	20,585	28,574	13,376	9,716	33,321	8,384	81,714		25,552		18,124	354,412	29,289		12,432		280,566	7,343	8,408	5,950	79,802
計	16,870,296		73,950	82,358	76,874	94,535	102,524	87,326	83,666	107,271	82,334	155,664	73,950	99,502	73,950	92,074	428,362	103,239	73,950	86,382	73,950	354,516	81,293	82,358	79,900	153,752
解体コスト																										
解体処分コスト※	470,900																									
計	470,900																									
合計	27,338,046	7,895,650	94,962	103,370	97,886	115,547	123,536	108,338	104,678	128,283	103,346	176,676	94,962	120,514	94,962	113,086	449,374	124,251	94,962	107,394	94,962	375,528	102,305	103,370	100,912	174,764
累計	27,338,046	7,895,650	7,990,612	8,093,982	8,191,868	8,307,415	8,430,952	8,539,289	8,643,967	8,772,250	8,875,596	9,052,273	9,147,235	9,267,749	9,362,711	9,475,797	9,925,171	10,049,423	10,144,385	10,251,778	10,346,740	10,722,268	10,824,574	10,927,944	11,028,855	11,203,619

税抜(千円)	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079	2080	2081
	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
運用コスト																										
光熱水コスト	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012
計	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012
保全コスト																										
維持管理コスト	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950
修繕等コスト (R8基準)	77,778	10,817	6,274	31,180	5,925	1,045,428		13,071	1,007	26,662	414,831	18,422	5,393	28,274	10,474	1,043,318		20,480	2,327	20,063	348,078	24,652	4,323	65,710	2,327	163,109
計	151,728	84,767	80,224	105,130	79,875	1,119,378	73,950	87,021	74,957	100,612	488,781	92,372	79,343	102,224	84,424	1,117,268	73,950	94,430	76,277	94,013	422,028	98,602	78,273	139,660	76,277	237,059
合計	172,740	105,779	101,236	126,142	100,887	1,140,390	94,962	108,033	95,969	121,624	509,793	113,384	100,355	123,236	105,436	1,138,280	94,962	115,442	97,289	115,025	443,040	119,614	99,285	160,672	97,289	258,071
累計	11,376,359	11,482,138	11,583,374	11,709,515	11,810,403	12,950,793	13,045,755	13,153,788	13,249,757	13,371,381	13,881,174	13,994,558	14,094,913	14,218,149	14,323,585	15,461,865	15,556,827	15,672,268	15,769,558	15,884,582	16,327,622	16,447,235	16,546,521	16,707,192	16,804,481	17,062,553

税抜(千円)	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088	2089	2090	2091	2092	2093	2094	2095	2096	2097	2098	2099	2100	2101	2102	2103	2104	2105	2106	2107
	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76
運用コスト																										
光熱水コスト	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012
計	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012
保全コスト																										
維持管理コスト	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950
修繕等コスト (R8基準)	6,934	13,481	8,040	32,821	31,684	15,864	1,541	30,550		1,370,658	409	8,408	6,523	20,994	30,927	12,966	10,125	37,329	7,975	466,793		73,784	409	18,124	395,707	29,699
計	80,884	87,431	81,990	106,771	105,634	89,814	75,491	104,500	73,950	1,444,608	74,359	82,358	80,473	94,944	104,877	86,916	84,075	111,279	81,925	540,743	73,950	147,734	74,359	92,074	469,657	103,649
合計	101,896	108,443	103,002	127,783	126,646	110,826	96,503	125,512	94,962	1,465,620	95,371	103,370	101,485	115,956	125,889	107,928	105,087	132,291	102,937	561,755	94,962	168,746	95,371	113,086	490,669	124,661
累計	17,164,449	17,272,891	17,375,893	17,503,676	17,630,321	17,741,148	17,837,651	17,963,163	18,058,125	19,523,744	19,619,115	19,722,486	19,823,970	19,939,927	20,065,815	20,173,744	20,278,831	20,411,122	20,514,058	21,075,813	21,170,775	21,339,521	21,434,892	21,547,978	22,038,646	22,163,307

税抜(千円)	2108	2109	2110	2111	2112	2113	2114	2115	2116	2117	2118	2119	2120	2121	2122	2123	2124	2125	2126	2127	2128	2129	2130	2131	2132	
	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	
運用コスト																										
光熱水コスト	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	
計	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	21,012	
保全コスト																										
維持管理コスト	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	73,950	
修繕等コスト (R8基準)	4,008	12,022	409	1,047,696	6,934	12,416	6,359	30,752	29,781	11,227	9,872	31,180	2,327	1,045,349		17,488	597	22,654	26,894	66,654	5,393	28,684	6,057			
計	77,958	85,97																								

5-2. ライフサイクルコストの比較

		【基本設計案】多角形中庭案		整形分節案	
計画案イメージ					
各種面積	延床面積	約 8,500 m ²	中庭 約 800 m ² (1F 約 200 m ² / 2F 約 600 m ²) は除く	約 8,500 m ²	必要機能は基本設計案と同等のため、延床面積も同等となる
	建築面積	約 5,100 m ²	建築面積 約 4,900 m ² + 1F 中庭面積 約 200 m ²	約 4,900 m ²	中庭がないことや建物形状が整形のため、基本設計案と比較して、やや小さくなる
	屋根面積	約 5,700 m ²	2F 中庭面積 約 600 m ² を含む	約 5,300 m ²	中庭がないことや建物形状が整形のため、基本設計案と比較して、やや小さくなる
	外壁面積 (外壁・窓等)	約 3,700 m ²	—	約 3,000 m ²	中庭がないことや建物形状が整形のため、基本設計案と比較して、やや小さくなる
ライフサイクルコスト指数 (供用年数 100 年、ZEB Ready 想定)		346	—	346	基本設計案と比較して、建設コストは抑えられているものの、ランニングコストが大きいいため、ライフサイクルコスト指数はほぼ同等となる
建設コスト指数		100	—	95	基本設計案と比較して、建築面積、屋根面積、外装面積が抑えられるため、コスト指数が小さくなる
ランニングコスト指数		240	以下の理由より、整形案と比較して指数が小さくなる ①自然エネルギーの有効活用 ：中庭があるため、自然採光、自然換気が効果的に取り込むことができる ②空調範囲の効率化 ：トップライトや吹抜けが整形案と比較して箇所数や大きさが抑えられるため、空調負荷が抑制できる	245	以下の理由より、基本設計案と比較して指数が大きくなる ①自然換気の効率が課題 ：勾配屋根の為、防水性能上大きな換気窓が設置できず、重力換気が十分に機能しない ②空調の効率が課題 ：奥行の深い執務空間に自然光を取り込むためのトップライトや吹抜けが必要になるため、空調負荷が高くなる
解体コスト指数		6	—	6	基本設計案と延床面積が同等のため、解体コスト指数も同等となる

5-3. 避難安全検証法 - 基本的な考え方

避難安全検証法は、建築物で火災が発生した際の避難安全性能を検証する手法です。在室者が煙によって危険にさらされることなく、避難を完了できる建築物をシミュレーションを用いて設計します。これにより、計画案の形状特性に応じた精度の高い安全検証ができます。さらに、規定法規で必要となる避難設備を一部緩和することができます。

● 全館避難安全検証法による計画への影響

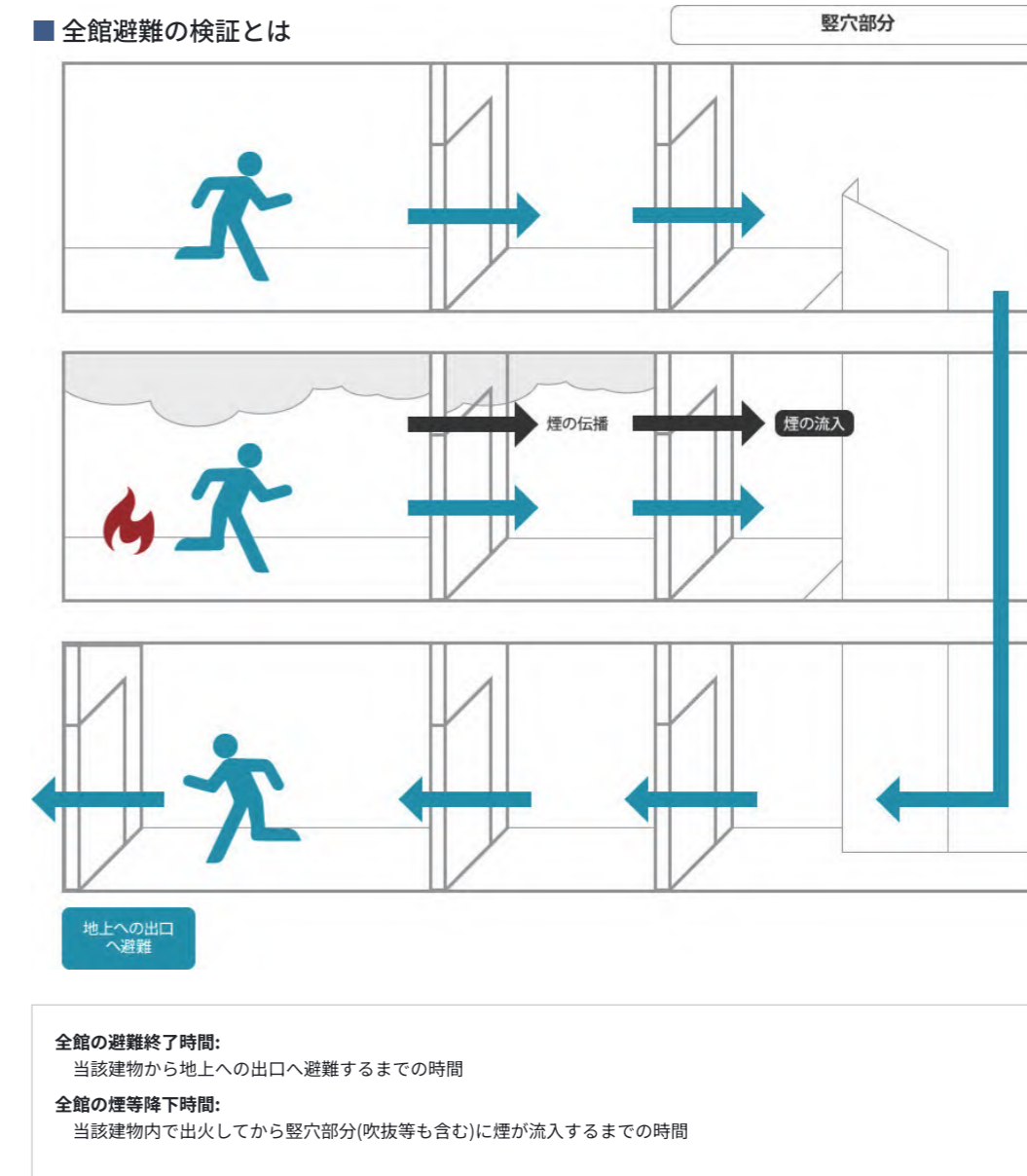
今回計画は吹抜けを要した開放的な一体区画（1階と2階を一体空間とした計画）のため、全館避難安全検証法で検証します。

■ 避難安全検証法で緩和可能な仕様規定

全館避難安全検証法の適用除外項目		今回計画での採否 (検討中)	計画上のメリット
防火区画	11階以上の100㎡区画	不採用	
	縦穴区画	採用	吹抜けや階段周りのシャッターが不要となり、吹抜けを介した開放的な一体区画を実現できる
	異種用途区画	採用	区画の一部免除や防火設備の仕様緩和ができ、意匠性の自由度が高まる
屋外への出口	屋外への出口までの歩行距離	採用	避難口を制限することで、意匠性の自由度を確保できる
	物販販売業を営む店舗における屋外への出口幅	不採用	
排煙設備	排煙設備の設置	採用	大平面かつ天井材を設けない計画が可能となり、広くゆとりある執務室空間を実現できる 吹抜け下部への防煙垂れ壁の設置が不要となり、吹抜けを介した開放的な一体区画を実現できる
	排煙設備の構造	採用	自然排煙窓を中止または減らすことができ、建設費の合理化を図れる。
内装制限	特殊建築物の内装	採用	木材や織物クロスなど特徴ある仕上材を一部の部屋で採用できる
避難施設	廊下の幅	採用	集会場のホール部分の廊下や出入口幅の規定（客席や面積に応じた幅員の割増規定）を緩和でき、計画の自由度が高まる
	直通階段までの歩行距離	採用	直通階段に指定する階段を制限することにより、吹抜け部の大階段と手すり形状の意匠性の自由度を確保できる
	避難階段の構造	不採用	
	屋外避難階段までの構造	不採用	
	特別避難階段の構造	不採用	
	物品販売業を営む店舗における避難階段などの幅階段への出入口	不採用	

● 全館避難安全検証法とは

※イズミコンサルティングのHPより抜粋



全館の避難終了時間 ≤ 全館の煙等降下時間 ⇒ O.K.

● 竣工後の運用における配慮事項

避難安全検証法を行った建物は適法性が保持されていることを確認する必要があります。建物の竣工後に間仕切り位置のレイアウト変更が軽微な変更であっても、検証法を行い安全性を確認することが必要となります。

※ 従来法規での設計においてもリフォームやリノベーションを行う場合は、適法確認または計画変更が必要となります。

5-4. 避難安全検証法 - 在館密度について

避難安全検証法では、在室者が煙によって危険にさらされることなく、避難を完了できるようにシミュレーションを行います。ただし、通常時の在館密度が極端に超えた場合に避難の遅れや火災・煙による危険性が高まるのがシミュレーションから予測されるため、一部の部屋で利用制限が生じる場合があります。

※例えば「1階の活動広場」でイベント時に大勢の人が一時的に集まる場合には吹き抜け上部（2階）の学習広場の同時利用を制限する可能性があるなど。

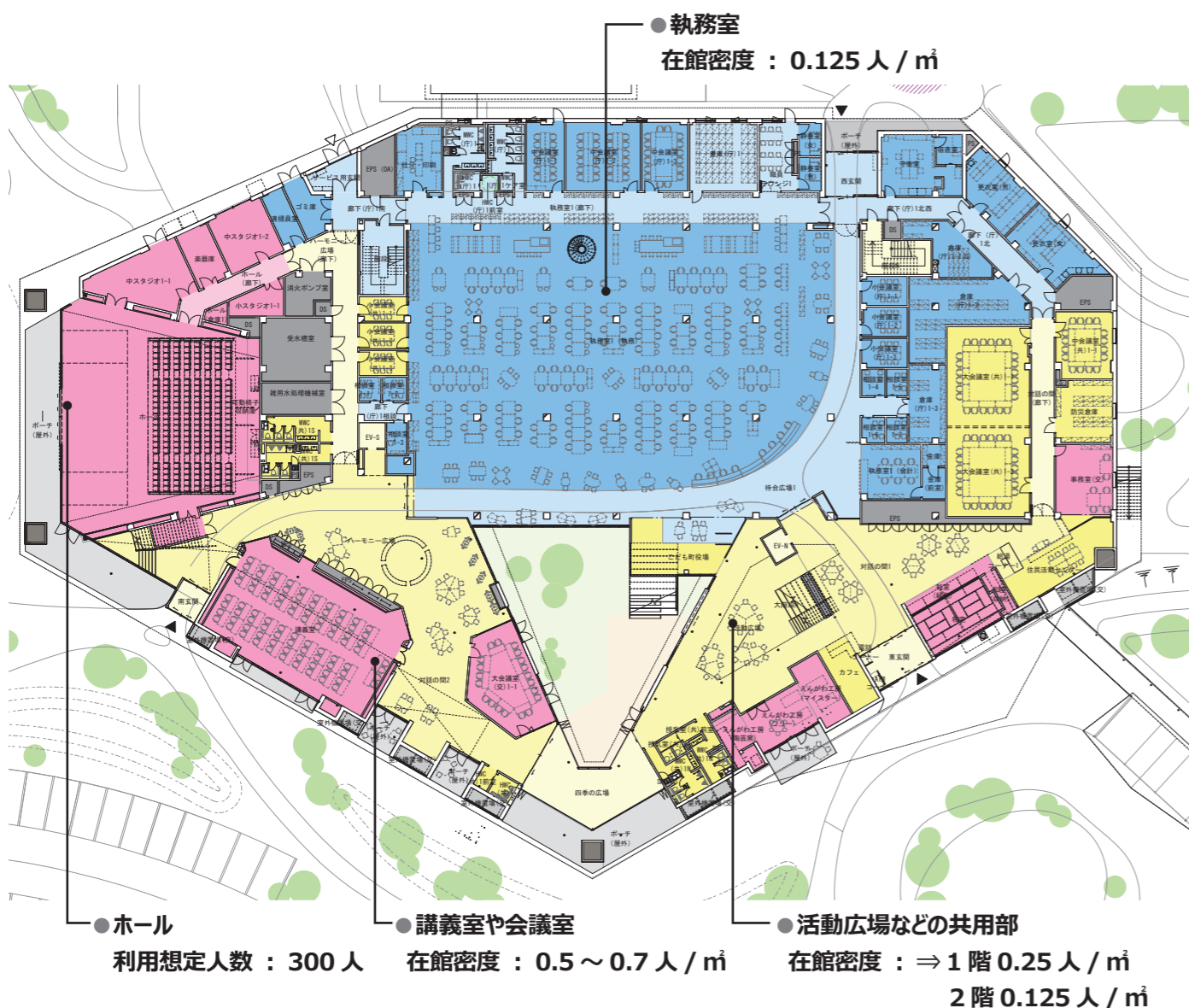
今回の検討では上記シミュレーションを行うため初期設定となる「通常時の在館密度」を設定し、どのようなイベント利用の時に利用制限があるかを検討していきます。

● 全館避難安全検証法による在館密度の設定について

今回計画は庁舎（事務所）と交流センター（集会場）の複合用途となりそれぞれで在館密度が異なります。通常時の在館密度は弊社の実績（複合市民ホールや他庁舎の事例）をもとにシミュレーションを行います。

※申請時はすべての部屋を設定しますが代表室となる部分を取り上げています。可燃物量は人数に応じて設定するため省略。

※ホールは運用人数が明確であることから最大の想定人数で検討を行います。



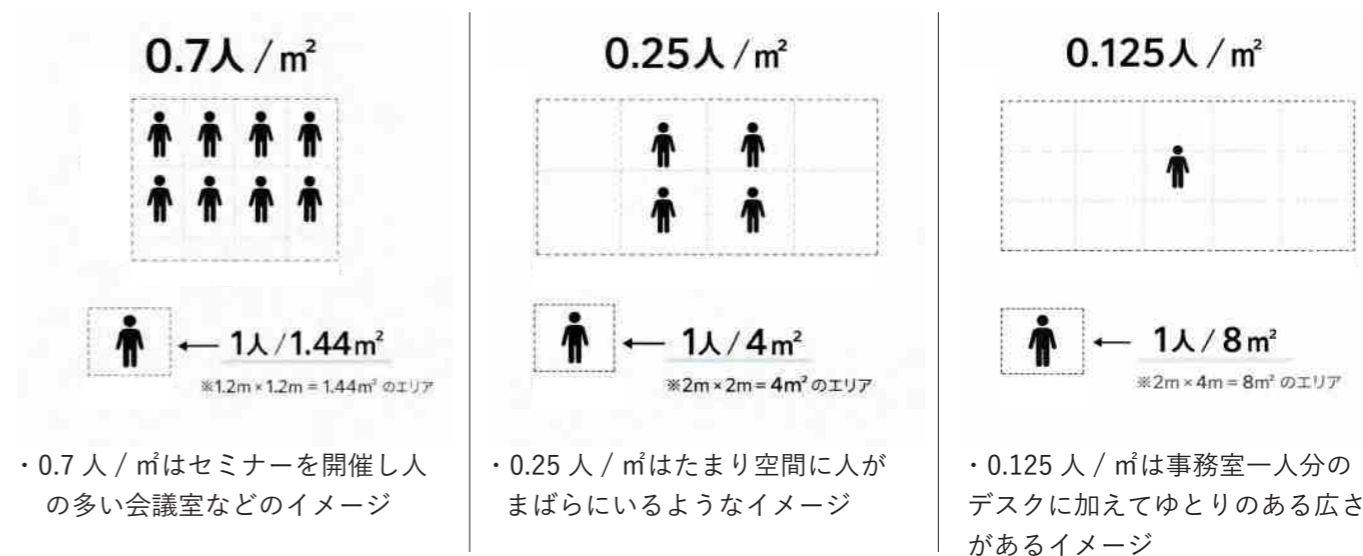
※ 2階部分は1階と比べて、溜まり空間が少ないため在館密度を低減

● 在館密度の設定について

※弊社の事例より 在館密度の参考値

- ・香椎市民センター（通称なみきスクエア）⇒実習室：0.7人/m²、ホワイエなどの共用部：0.25人/m²
- ・東部地域振興ふれあい拠点 ⇒多目的ホール：1.5人/m²、ホワイエなどの共用部：0.25人/m²
- ・テナントオフィス（事務所） ⇒執務室：0.125人/m²

在館密度のイメージを下記に示します。



※香椎市民センター（通称なみきスクエア）の通常利用の写真
避難検証法を用いた設計であっても普段の住民利用には影響が生じにくい密度を採用しています。

● イベント時における配慮事項

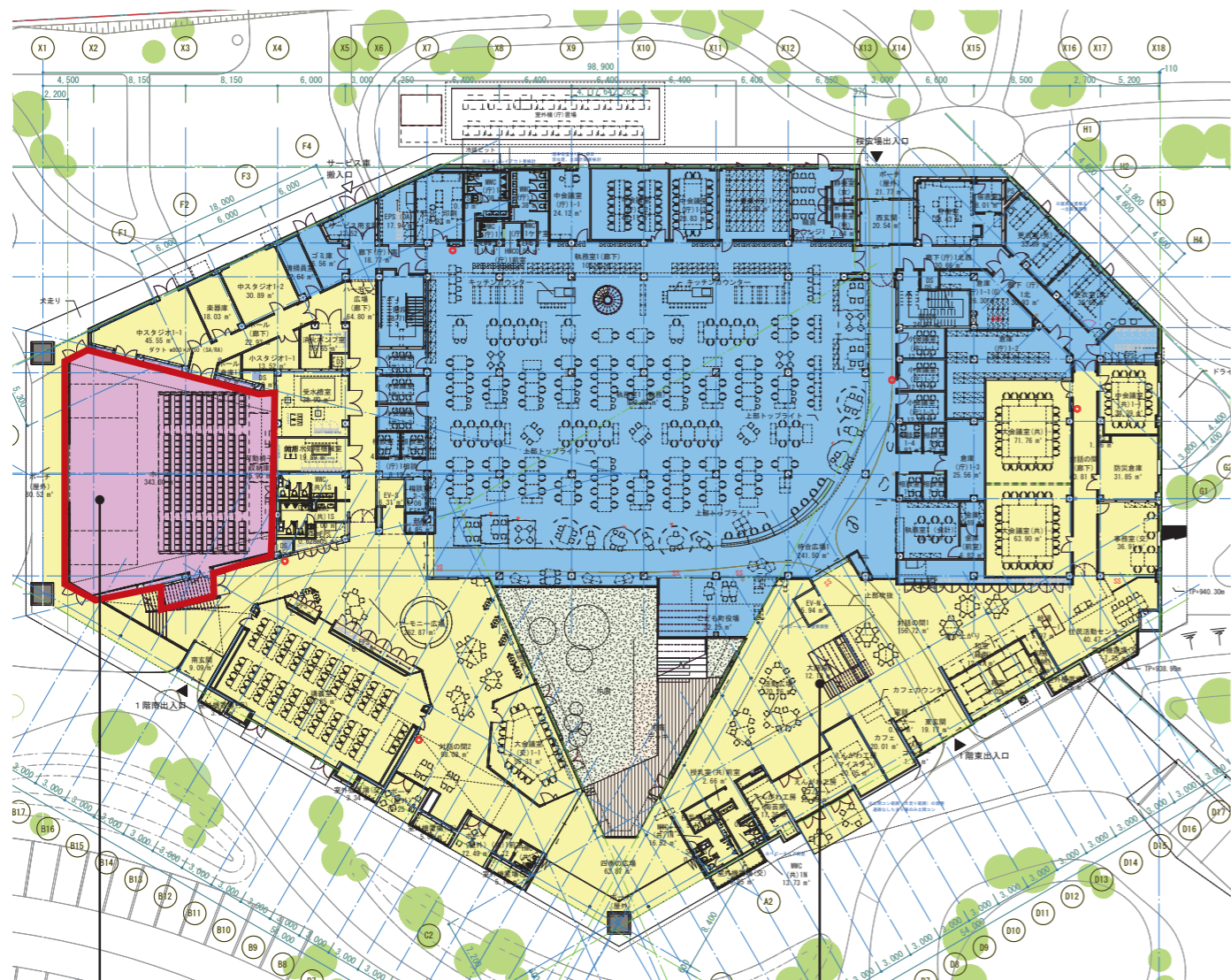
設計段階で想定した密度と可燃物量（火の発熱量）を極端に超えるような利用を行う場合には他の部屋を使わないなどの利用制限を受ける可能性があります。極端なイベントを行う場合には設計者・専用コンサルタントに確認を行うか、想定した利用方法を設計・申請段階で設定しておくことも可能です。（広場で物販・バザーや、火気を使用するイベント、大人数が集まるイベントなどは配慮が必要となります。）

5-5. 建物の確認申請上の用途について

今回建築物の用途は大きく分けて『庁舎（事務用途）』『交流センター（その他用途）』『ホール（集会場用途）』に該当する複合用途の建物となります。

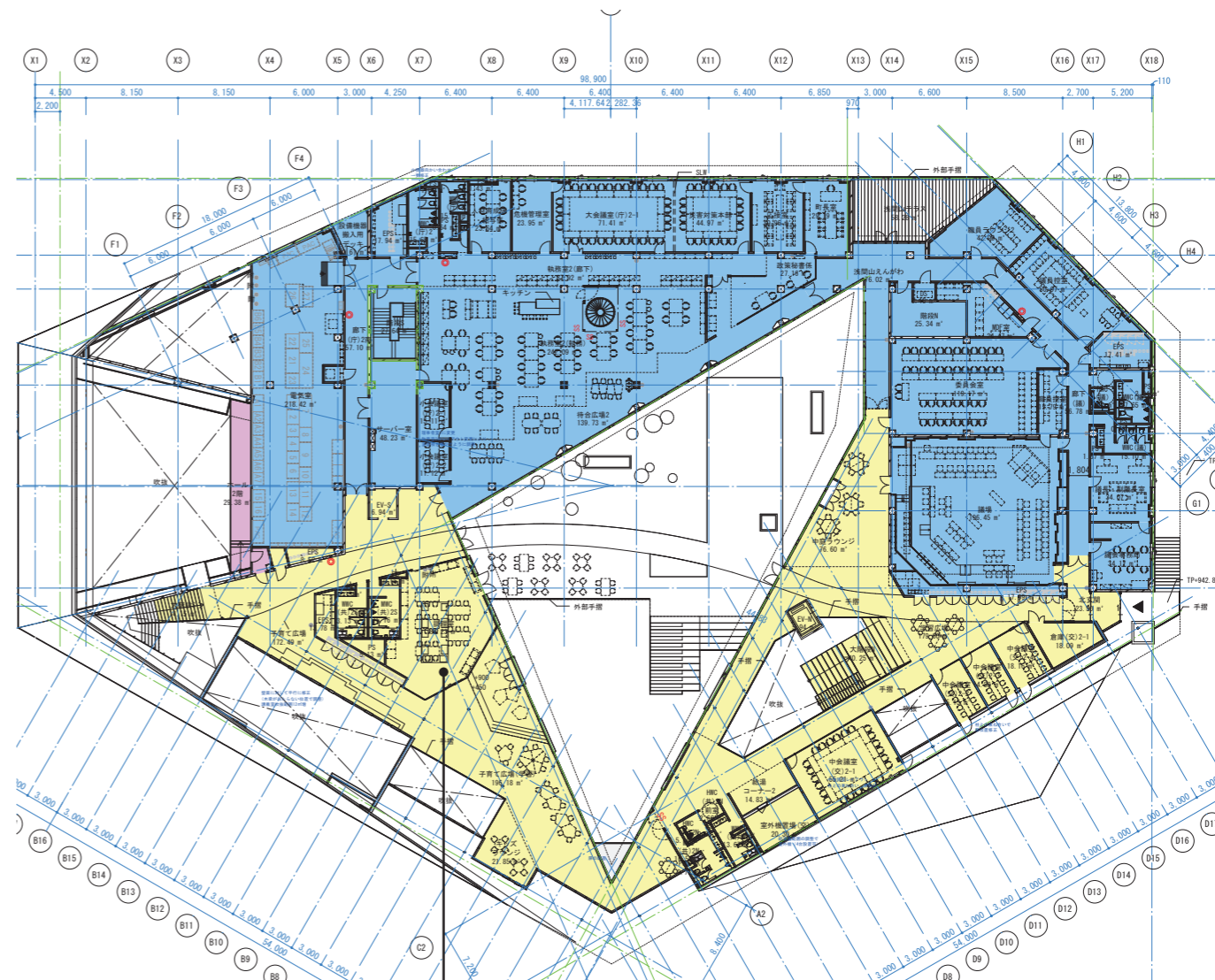
※用途範囲は継続して消防と審査機関と協議中のため今後変更となる可能性があります。

- 庁舎（事務用途）
- 交流センター（その他用途）
- 集会場用途



●ホールは『集会場』用途と想定しています。
※よって、異種用途区画はホールのみが該当すると想定しています。

●大階段部分や、〇〇広場・えんがわなどは事務所と交流センターに付属した共用部分として想定しています。



●講義室や中・小会議室などは『交流センター（その他）』用途と想定しています。

●用途の判定について

建築基準法上の『集会場』用途とは下記条件に該当する部分が集会場用途としてみなされます。

- ・長野県条例：不特定多数の者が利用する室で客席部分の面積が **200 m²以上**
- ・建築基準法：不特定多数の者が利用する室で部屋の面積が **200 m²以上**
- ・消防法：運用によって判断
(月数回程度の不特定多数の者が利用する程度であれば「その他」用途とすることが多い)

第 6 章 基本設計図

6-1. 敷地・建物概要 / 敷地案内・現況図 (A3: 1/3,000)

■敷地概要

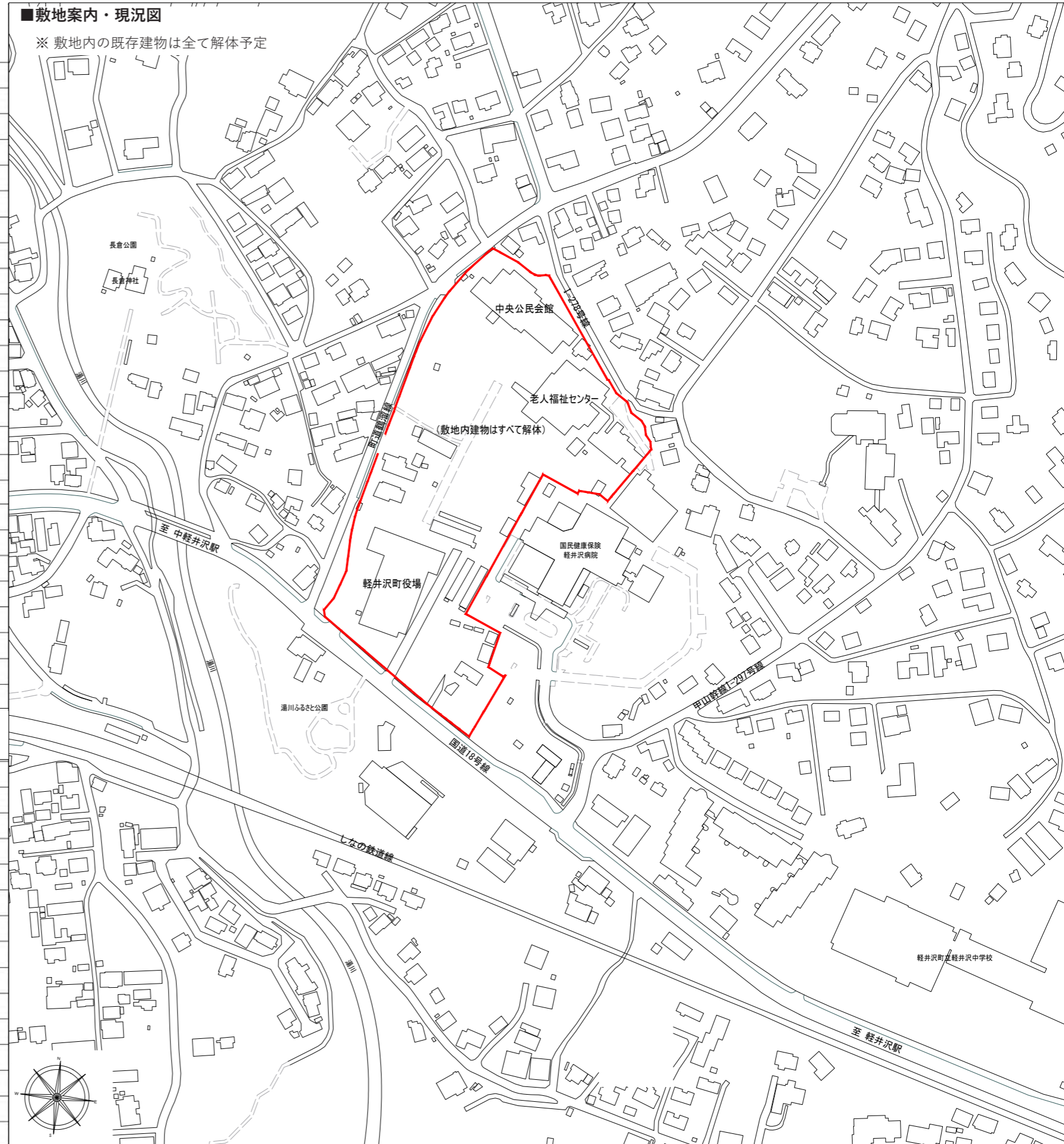
所在地	(地名地番) 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2381番地1他 (住居表示) 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2381番地1	
敷地面積	33,238.15㎡	民有地取得による拡張分を含む
用途地域	第1種住居地域 非線引き区域	法48条ただし書き許可申請 (県)
前面道路	国道18号線 幅員13.25m (内、歩道: 4.0m) 町道鶴溜線 (I-26号線)、垂水甲山線 (I-278号線) 甲山幹線 (I-279号線)	主道路
防火規制	法22条区域	
日影規制	4時間/2.5時間-4.0m	
地域地区	第1種高度地区、風致・美観・景観形成地区	高度地区許可申請 (町)
その他	軽井沢自然保護対策要綱	
建ぺい率	許容 60%	
容積率	許容 200%	
インフラ	ガス: 都市ガス無し (供給予定無し)、LPG使用 水道: 町道鶴溜線下の水道から引込 (φ40mm) 下水道 (汚水): 町道鶴溜線下に接続 雨水排水: 敷地内浸透処理 電力: 中部電力 通信: NTT	
垂直積雪量	垂直積雪量74cm以上	
凍結深度	70cm	軽井沢町の建築規制一覧表 (参考値)
粗度区分	Ⅲ	
基準風速	Vo=30m/s	告示

■建物概要

工事名称	軽井沢町庁舎改築周辺整備事業	
主要用途	08300 庁舎、08550 集会場、08990 その他 (交流センター)	
耐火種別	耐火建築物	
建築面積	約6,210㎡ (新施設 約4,935㎡ / 付属施設 1,275㎡)	
延べ面積	約9,635㎡ (新施設 約8,550㎡ / 付属施設 1,085㎡)	
階数	3階建	
構造	RC造 + S造 (一部木造)	
構造体	Ⅱ類	基本計画にて決定
建築非構造部材	A類	基本計画にて決定
建築設備	甲類	基本計画にて決定
基礎形式	直接基礎	
階数	地下0階 地上3階	
地盤面高さ	新施設 TP+939.18 / 敷地全体 TP+939.68	
最高高さ	17.354m	
軒高さ	3.32m~11.946m	

■敷地案内・現況図

※ 敷地内の既存建物は全て解体予定



6-2. 施設概要 / 建築面積・延べ面積表

■ 施設概要

【新施設】

用途	: 庁舎（事務所） ホール（集会場） 交流センター（その他）
消防法上用途	: 庁舎（15項） ホール・交流センター（1項口）
耐火種別	: 耐火建築物
階数	: 地上3階
構造形式	: RC造+S造（一部木造：斜材のみ）
最高高さ	: 約17.4m

【付属施設 合計 13棟】

① 発電機室	用途: 発電機室（その他） 耐火種別: 耐火建築物 階数: 地上1階 構造形式: RC造 最高高さ: 約6.3m	② 公用車庫（大型）+ 詰所	用途: 自動車庫 詰所（事務所） 耐火種別: 準耐火建築物（ロ-2） 階数: 地上1階 構造形式: 軽量鉄骨造 最高高さ: 約7.0m	③ 公用車庫（中型）+ 屋外倉庫	用途: 自動車庫、倉庫 耐火種別: 準耐火建築物（ロ-2） 階数: 地上1階 構造形式: 軽量鉄骨造 最高高さ: 約5.0m	④ 利用者用駐輪場	用途: 自転車駐輪場 耐火種別: その他建築物 階数: 地上1階 構造形式: 鉄骨造 最高高さ: 約3.0m	⑤ 職員用駐輪場	用途: 自転車駐輪場 二輪駐輪場（車庫） 耐火種別: その他建築物 階数: 地上1階 構造形式: 鉄骨造 最高高さ: 約3.0m
⑥ おもいやり駐車場	用途: 自動車庫 耐火種別: その他建築物（法84条の2に該当） 階数: 地上1階 構造形式: 鉄骨造 最高高さ: 約4.0m	⑦ 歩廊	用途: 歩廊 耐火種別: その他建築物 階数: 地上1階 構造形式: 鉄骨造 最高高さ: 約2.5m	⑧ 公用車用（一般）6台用 × 4棟	用途: 自動車庫 耐火種別: その他建築物（法84条の2に該当） 階数: 地上1階 構造形式: 鉄骨造 最高高さ: 約3.5m	⑨ 公用車用（一般）8台用 × 2棟	用途: 自動車庫 耐火種別: その他建築物（法84条の2に該当） 階数: 地上1階 構造形式: 軽量鉄骨造 最高高さ: 約3.5m	※ その他、工作物あり	

■ 建築面積表

新施設	建築面積
合計	4,935㎡

付属施設	番号	室名	建築面積
付属施設	①	発電機室	105㎡
	②	公用車庫（大型）9台	435㎡
		+ 詰所	
	③	公用車庫（中型）6台	230㎡
		+ 屋外倉庫	
	④	利用者用駐輪場	25㎡
	⑤	職員用駐輪場	30㎡
	⑥	おもいやり駐車場	70㎡
	⑦	歩廊	30㎡
⑧	公用車用（一般）6台用 × 4棟	205㎡ (51.25㎡) / 1棟	
	公用車用（一般）8台用 × 2棟		
⑨	公用車用（一般）8台用 × 2棟	145㎡ (72.50㎡) / 1棟	
合計			1,275㎡

新敷地+付属施設	建築面積
合計	6,210㎡

■ 延べ面積表

新施設	階数	屋内用途		屋外用途	法定延べ面積
		容積対象①	容積対象外	(容積対象②)	
新施設	3F	600㎡	10㎡	140㎡	750㎡
	2F	3,080㎡	10㎡	70㎡	3,160㎡
	1F	4,420㎡	50㎡	170㎡	4,640㎡
	合計	8,100㎡	70㎡	380㎡	8,550㎡
容積対象 (①+②) 合計		8,170㎡		380㎡	8,550㎡

付属施設	番号	室名	容積対象③	容積対象外	法定延べ面積
付属施設	①	発電機室		95㎡	95㎡
	②	公用車庫（大型）9台		300㎡	400㎡
		+ 詰所	100㎡		
	③	公用車庫（中型）6台		150㎡	200㎡
		+ 屋外倉庫	50㎡		
	④	利用者用駐輪場		15㎡	15㎡
	⑤	職員用駐輪場		20㎡	20㎡
	⑥	おもいやり駐車場		55㎡	55㎡
	⑦	歩廊		0㎡	0㎡
⑧	公用車用（一般）6台用 × 4棟		180㎡ (45.00㎡) / 1棟	180㎡	
	公用車用（一般）8台用 × 2棟		120㎡ (60.00㎡) / 1棟		
合計			150㎡	935㎡	1,085㎡

新施設+付属施設	容積対象 (①+②+③)	容積対象外	法定延べ面積
合計	8,630㎡	1,005㎡	9,635㎡

■ 用途別面積表

用途	機能	計画面積		按分比率
		機能別	用途別	
庁舎	庁舎機能	2,860㎡	3,410㎡	75%
	議会機能	550㎡		
交流センター		1,150㎡	1,150㎡	25%
共用部	共用機能	2,230㎡	3,990㎡	/
	バックヤード	1,380㎡		
	屋外	380㎡		
合計（法定延べ床面積）		8,550㎡		

用途別（共用部按分）面積表

用途	用途別面積	共用部面積	共用部按分面積
庁舎	3,410㎡	2,992.5㎡	6,402.5㎡
交流センター	1,150㎡	997.5㎡	2,147.5㎡
合計（法定延べ床面積）			8,550㎡

6-3. 配置図 (A3: 1/1,000)

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。



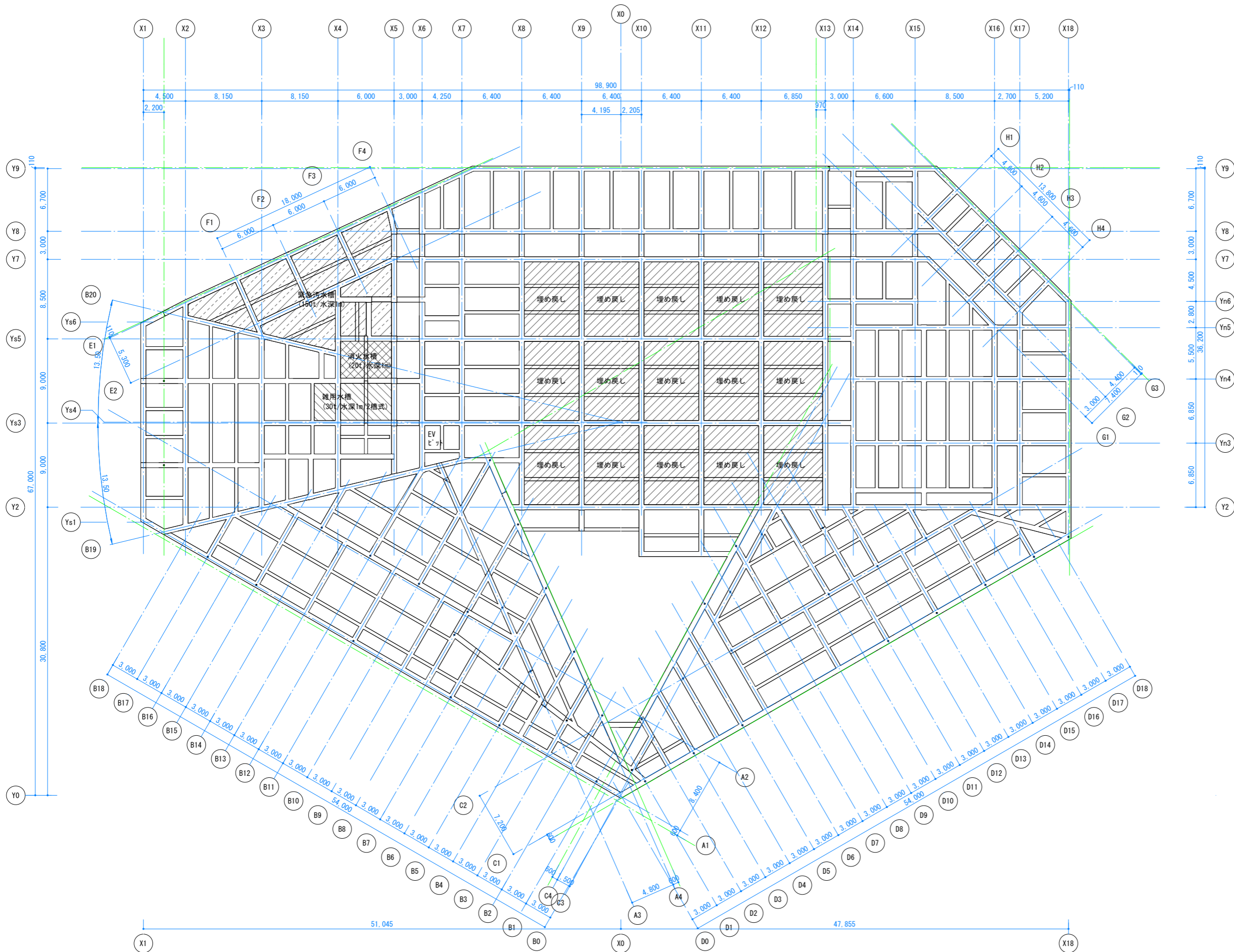
■凡例

種別	C: 流出係数
緑地 (種子吹付)	0.2
緑地 (地被類・低木)	0.2
緑地 (タフグリーン)	0.2
浅間石積み	0.2
浅間石入り土間コン舗装	0.8
木チップ舗装	0.2
土間コンクリート舗装	0.85
インターロック舗装	0.85
アスファルト舗装	0.85
ピリ砂利敷き	0.2
既存のまま	0.2
屋根	0.9
外構基礎・工作物等	0.8
浸透側溝または浸透トレンチ	

利用者用駐車場 合計 170台	高木 (H5.0m)	30本
(内 おもいやり駐車場) 5台	高木 (H3.0m)	65本
利用者用駐輪場 合計 20台	中木 (H2.0m)	89本
公用車用駐車場		
大型車 9台		
中型車 6台		
一般車 40台		
合計 55台		
職員用二輪駐輪場 5台		
職員用駐輪場 5台		

● 軽井沢町 自然保護対策要綱に基づく 建築制限ライン (道路境界から5m, 隣地境界から1m)
 --- 延焼の恐れのある範囲

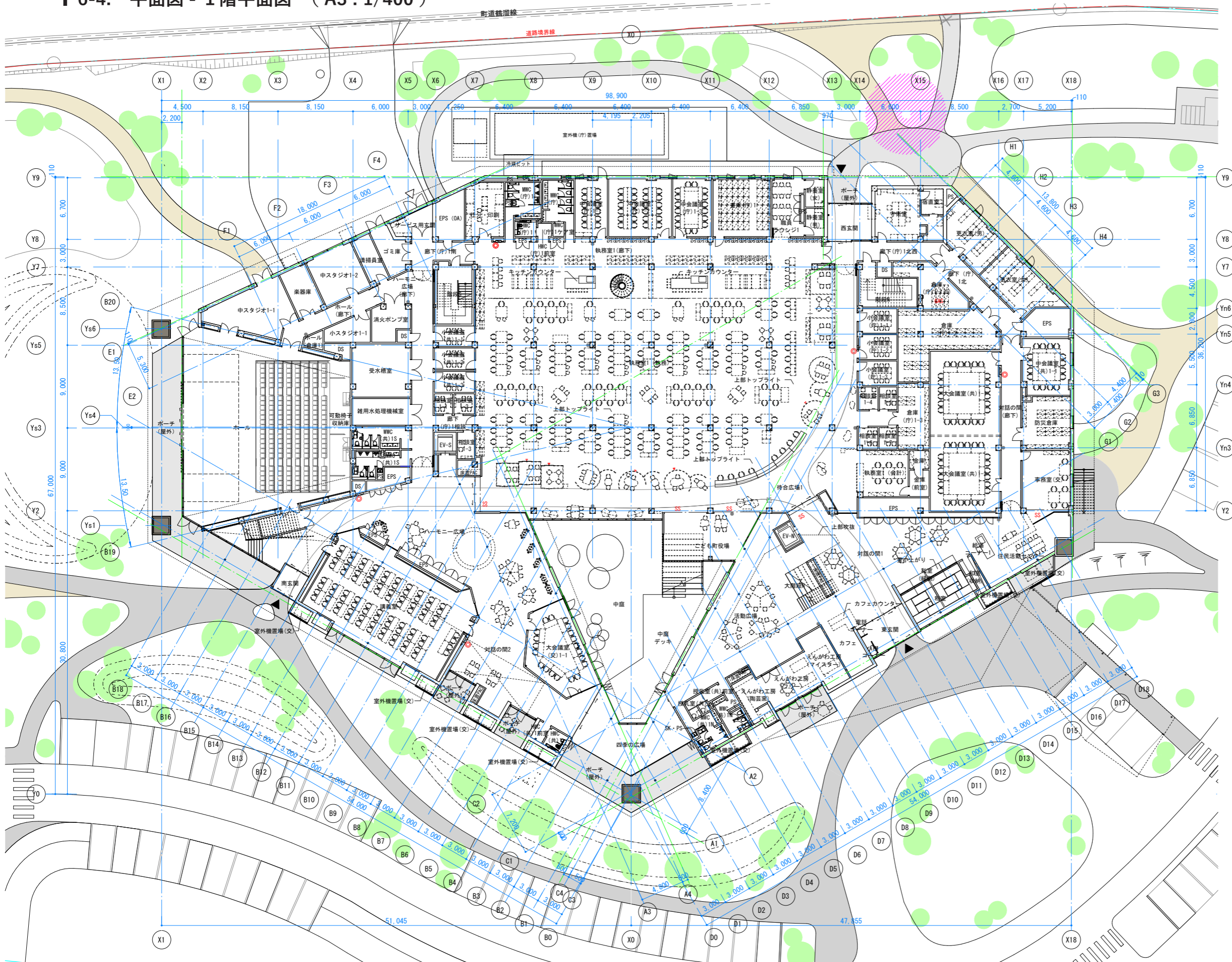
6-4. 平面図 - ピット図 (A3:1/400)



■ 凡例	
	消火水槽
	雑用水槽
	緊急汚水槽
	埋め戻し

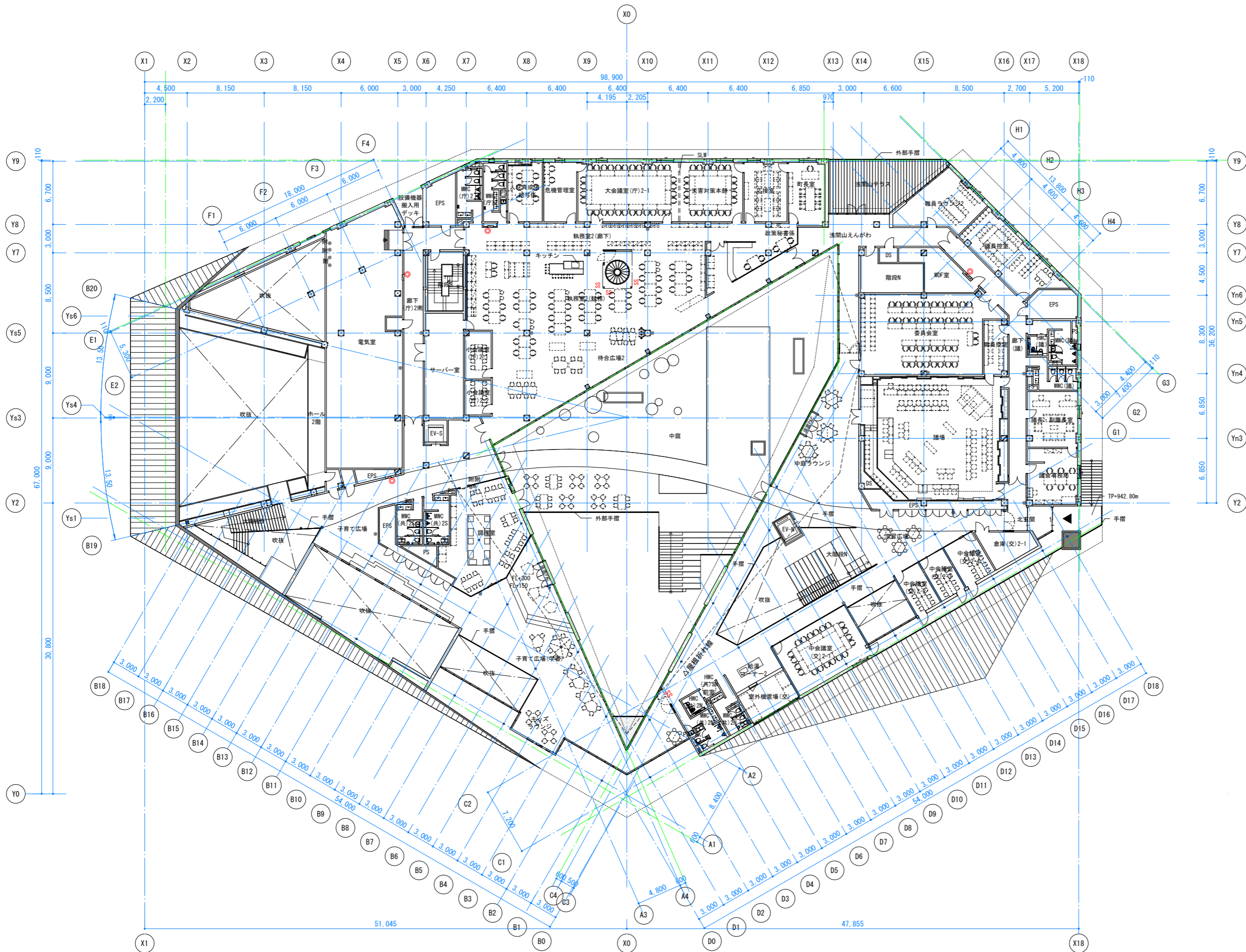
実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

6-4. 平面図 - 1階平面図 (A3: 1/400)



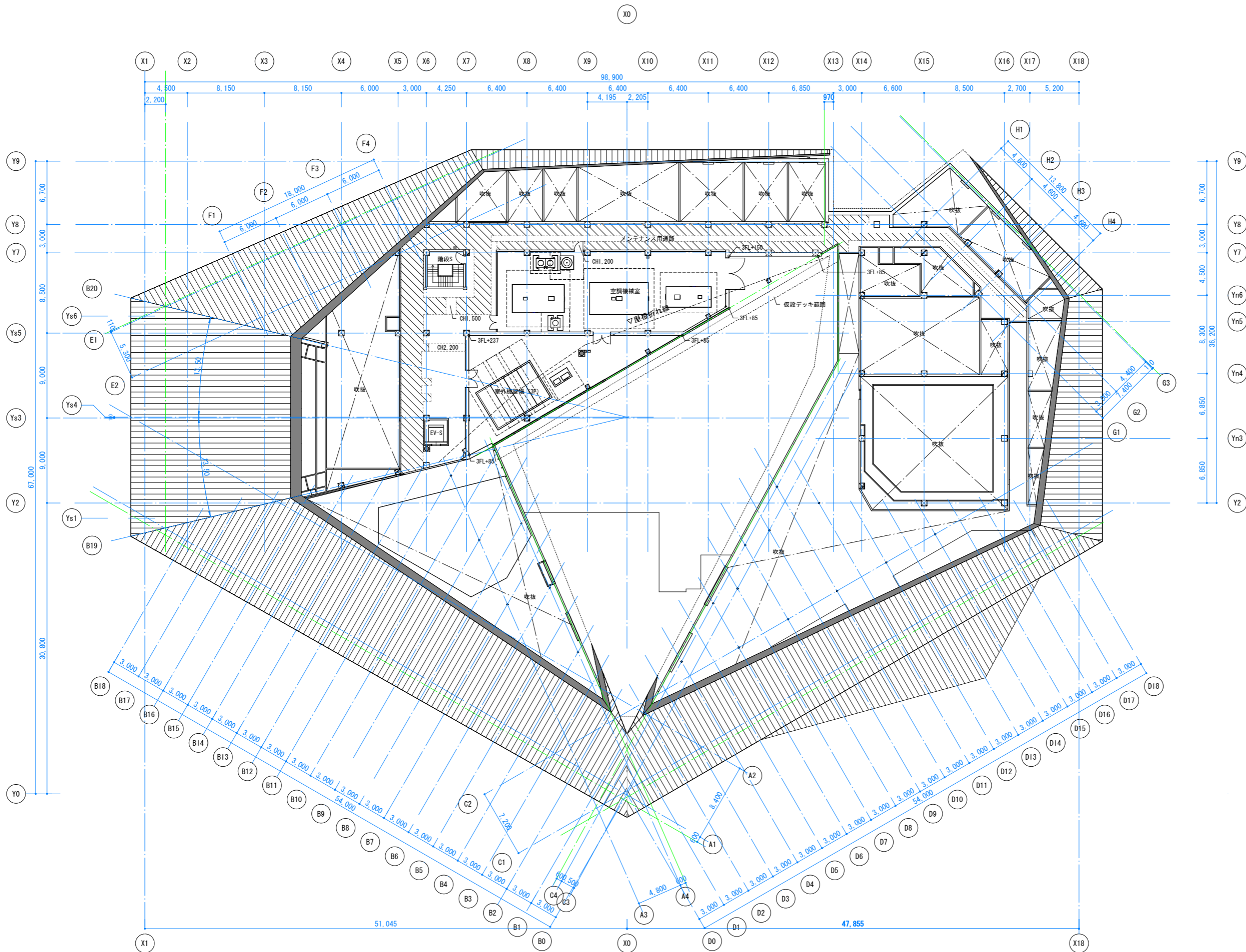
実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

6-4. 平面図 - 2階平面図 (A3: 1/400)



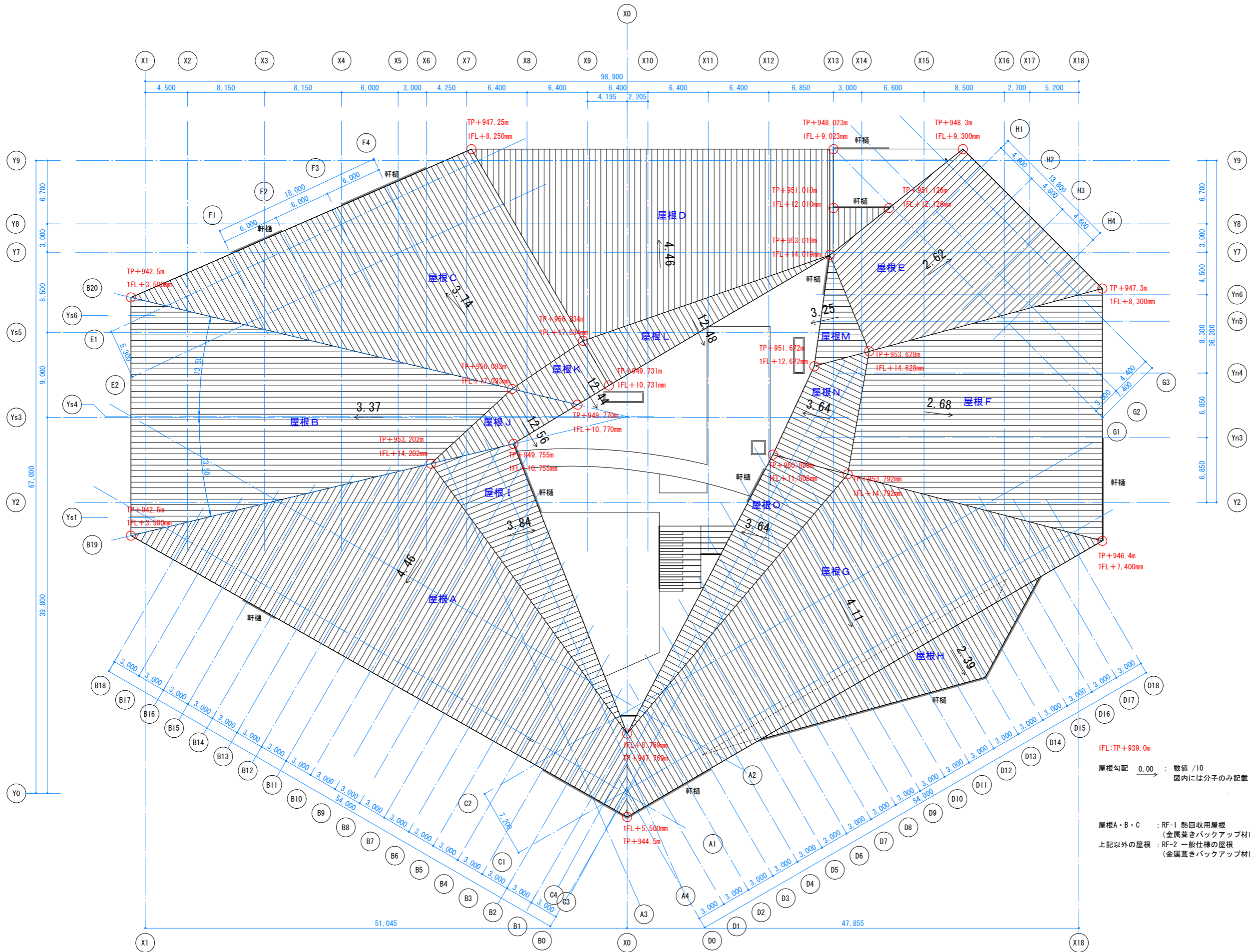
実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

6-4. 平面図 - 3階平面図 (A3: 1/400)



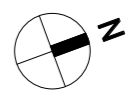
実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

6-5. 屋根伏図 (A3: 1/400)



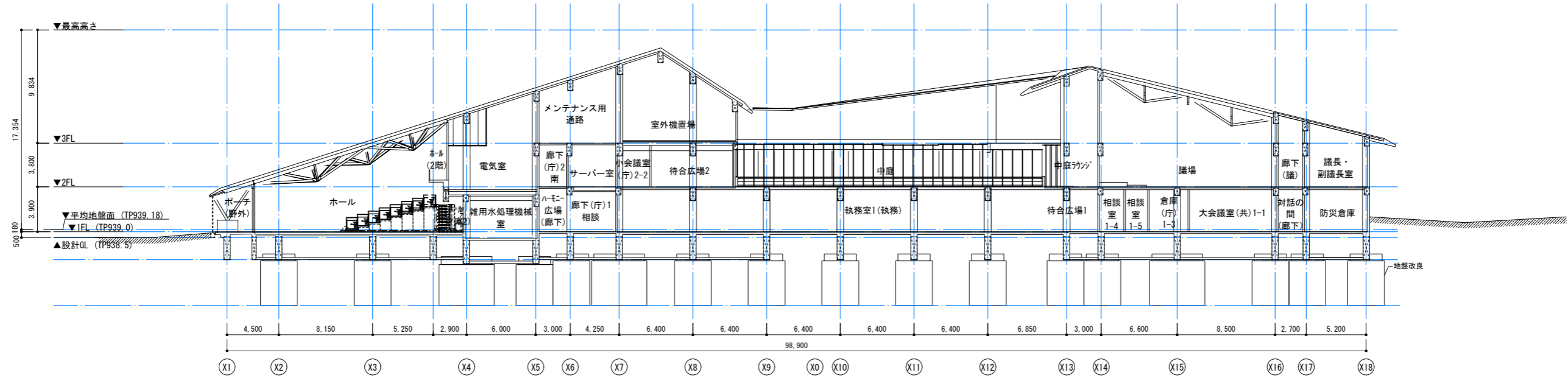
1FL: TP+939.0m
 屋根勾配 0.00 : 数値 / 10
 図内には分子のみ記載

屋根A・B・C : RF-1 熱回収屋根
 (金属葺きバックアップ材は金属材)
 上記以外の屋根 : RF-2 一般仕様の屋根
 (金属葺きバックアップ材は断熱材)

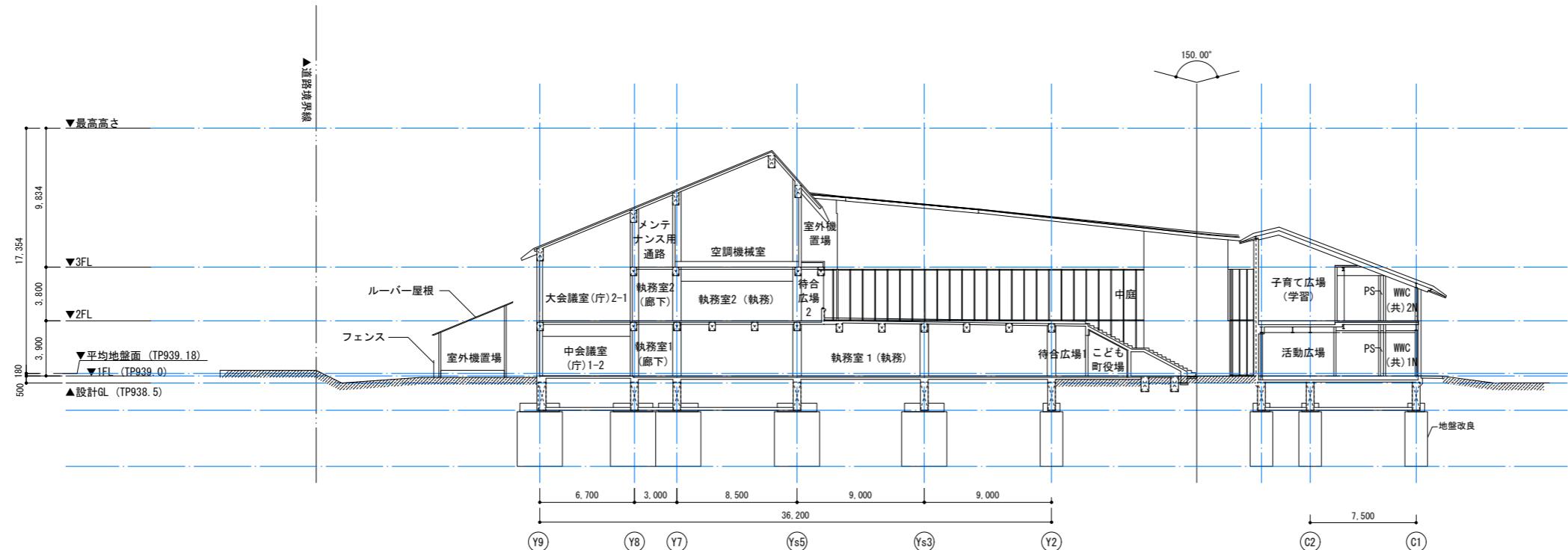


実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

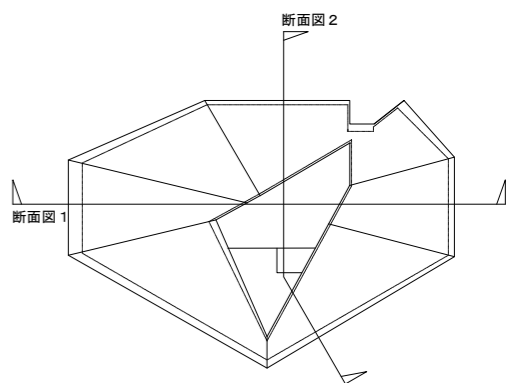
6-6. 断面図 (A3:1/400)



断面図 1



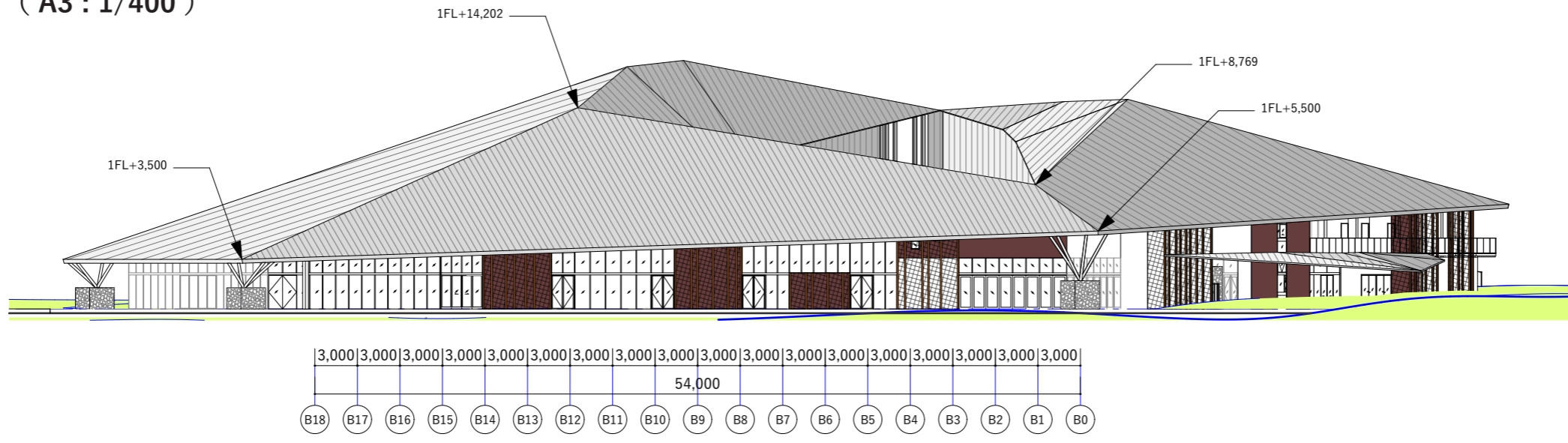
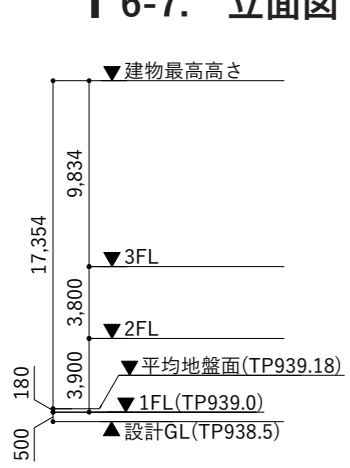
断面図 2



キープラン

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

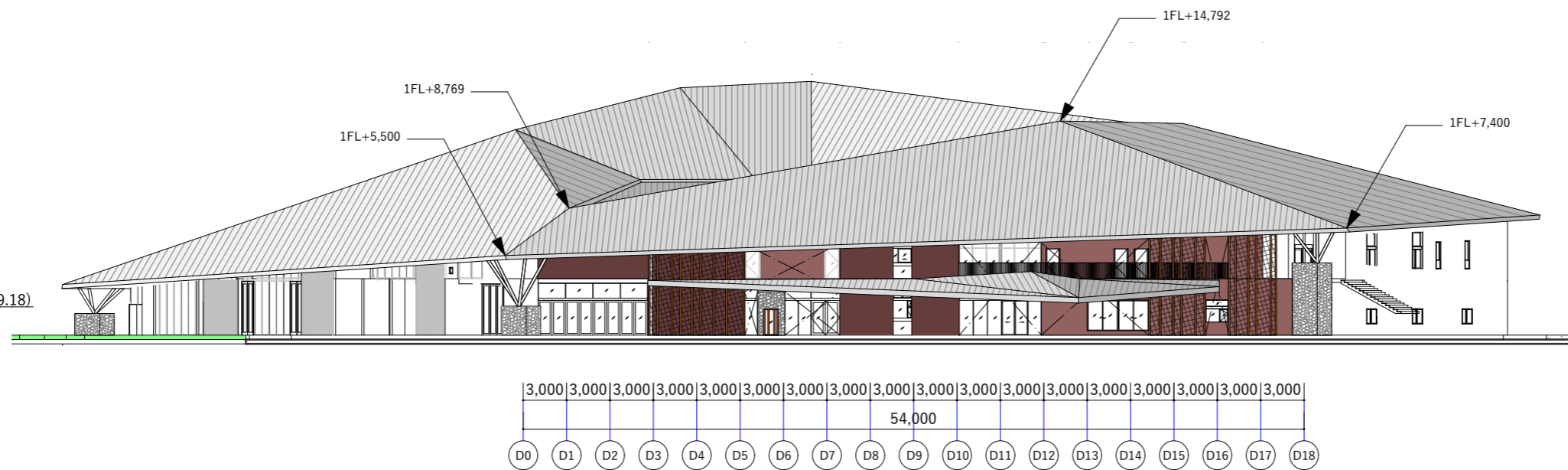
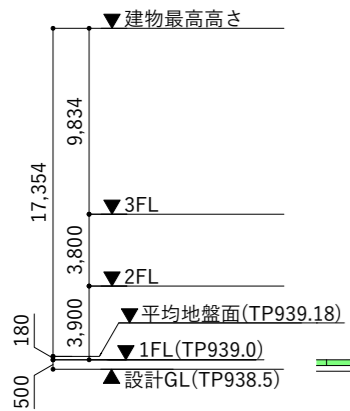
6-7. 立面図 (A3:1/400)



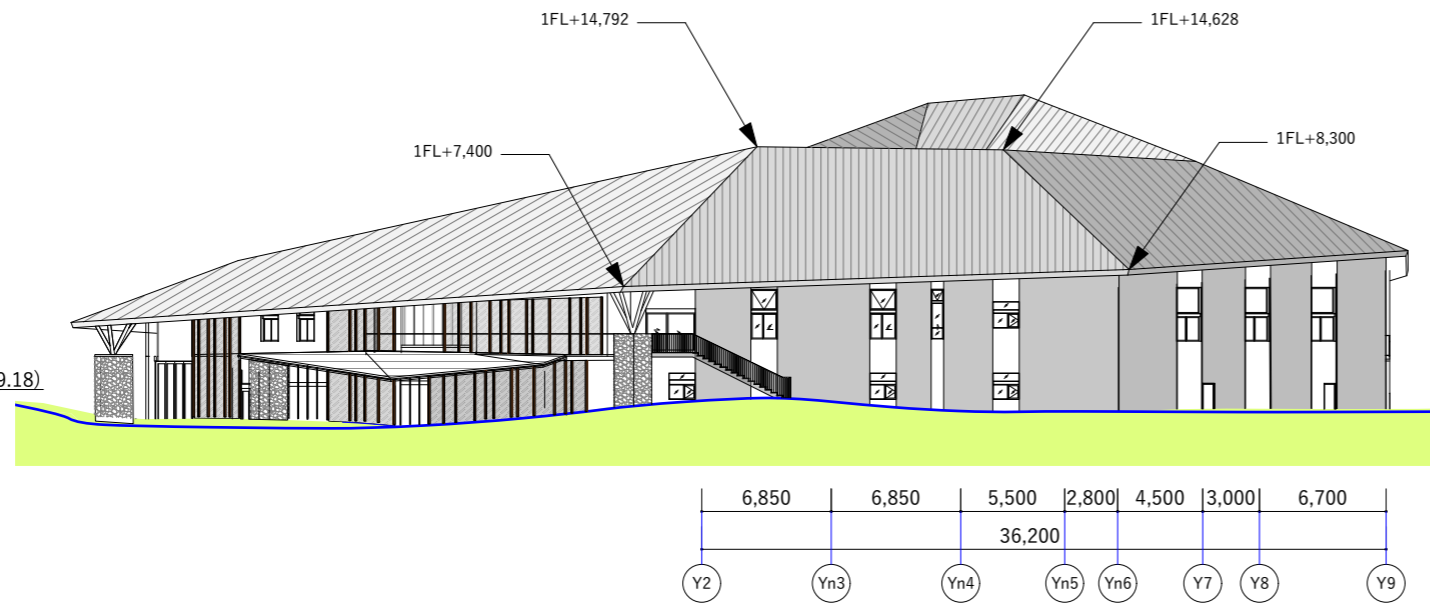
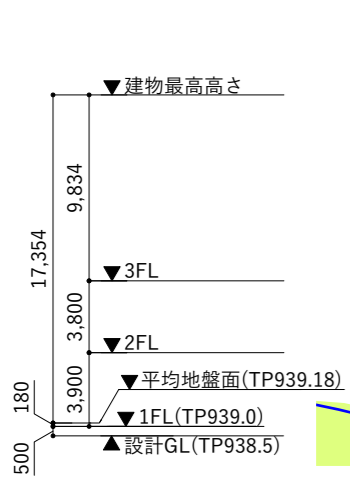
南東立面図

主な外部仕上げ 凡例

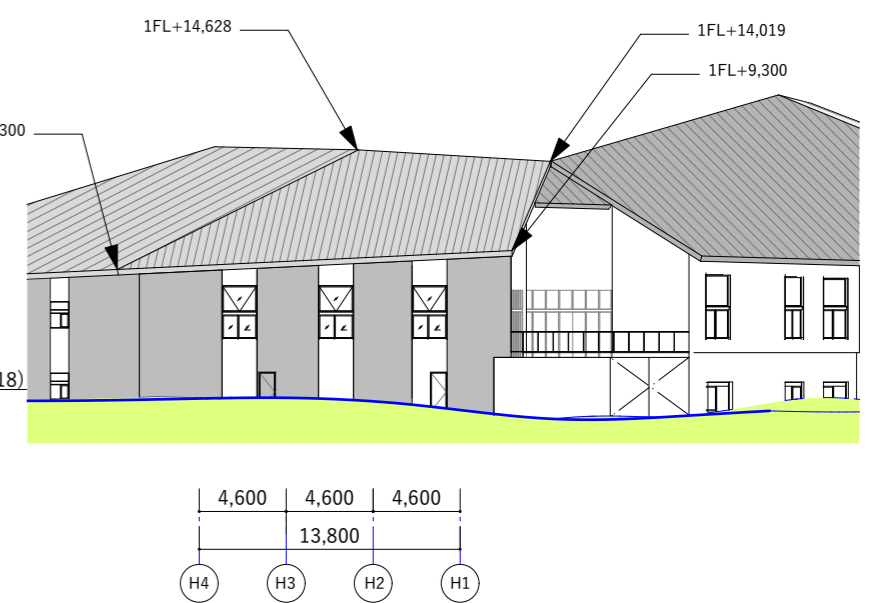
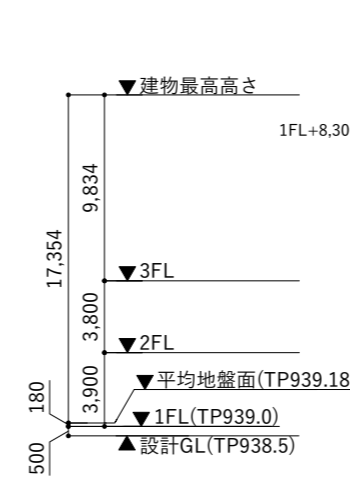
	ガルバリウム鋼板 縦葺き
	調色撥水塗料
	浅間石積
	アルミルーバー
	金網



北東立面図



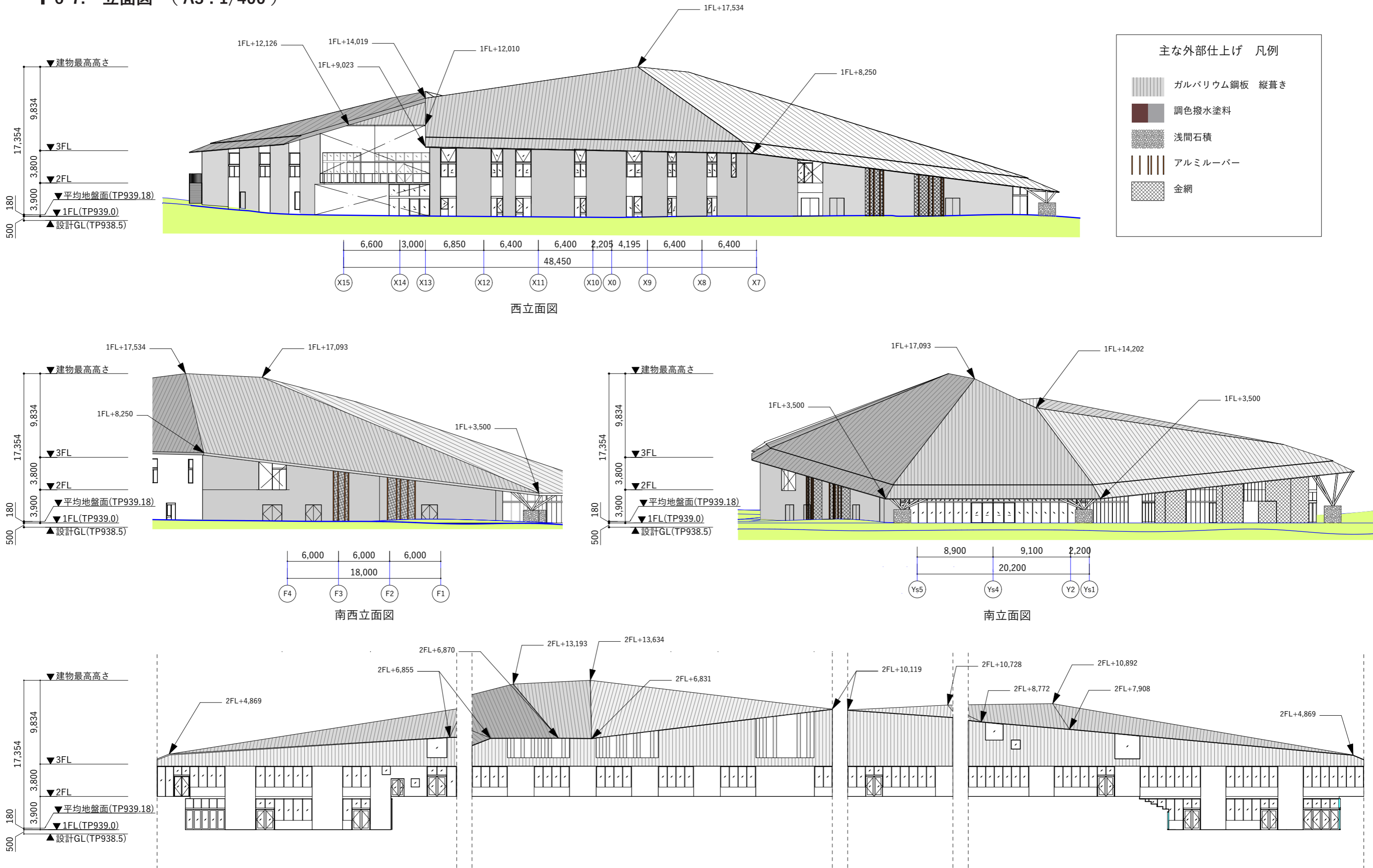
北立面図



北西立面図

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

6-7. 立面図 (A3:1/400)

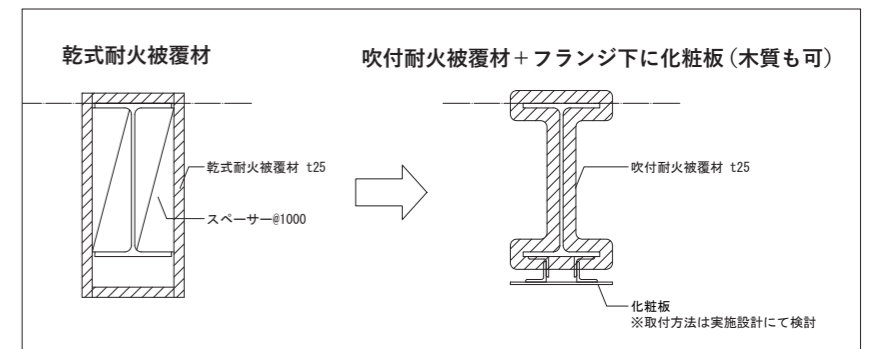


実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

6-8. 略矩計図 - 屋根詳細の考え方 (A3: 1/100)

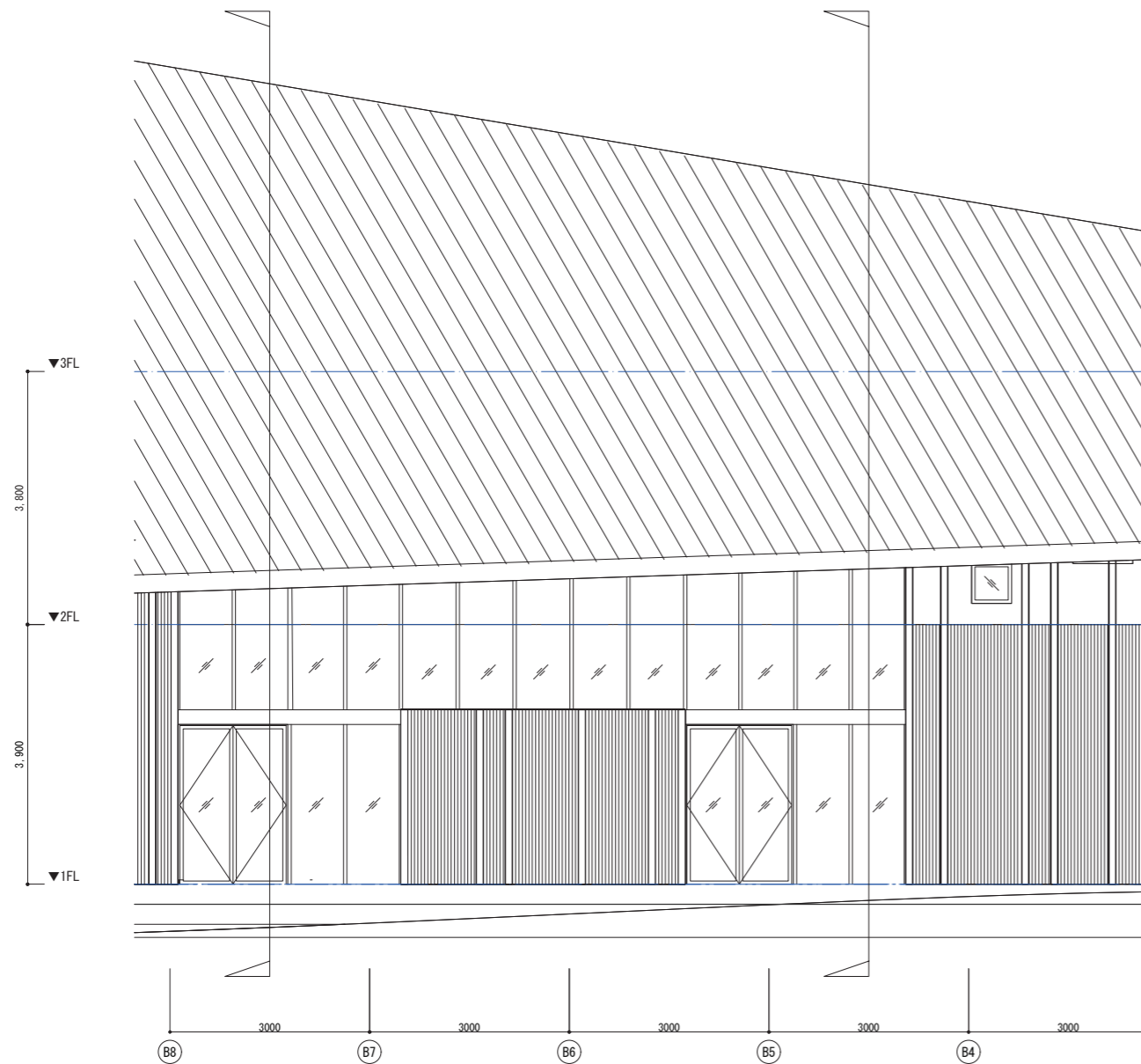
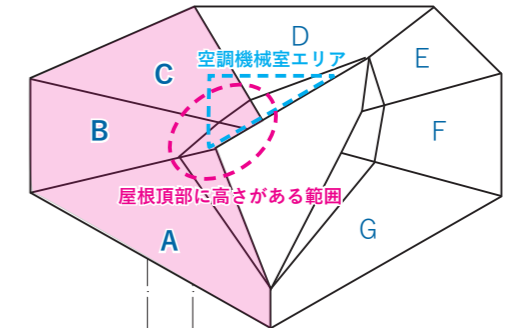
① 鉄骨梁の凹凸を見せるデザイン

- ・天井材を屋根母屋 (St-C-150 × 50 × 2 × 2.3 @ 600) に直接ビス等で固定することにより、「直天井」の計画とし特定天井を回避
- ・「乾式耐火被覆材」または「吹付耐火被覆材+フランジ下に化粧板」等、コストとデザインに配慮して、今後詳細検討を実施

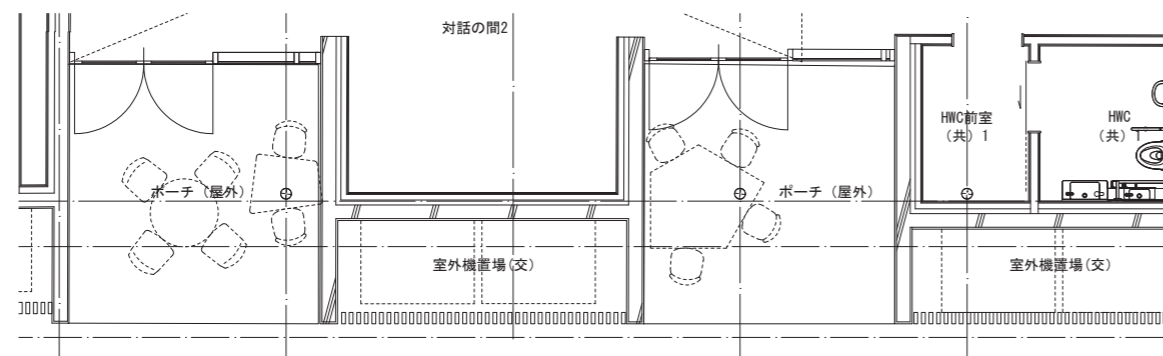


② 屋根通気を活かした日射熱利用 (冬期)

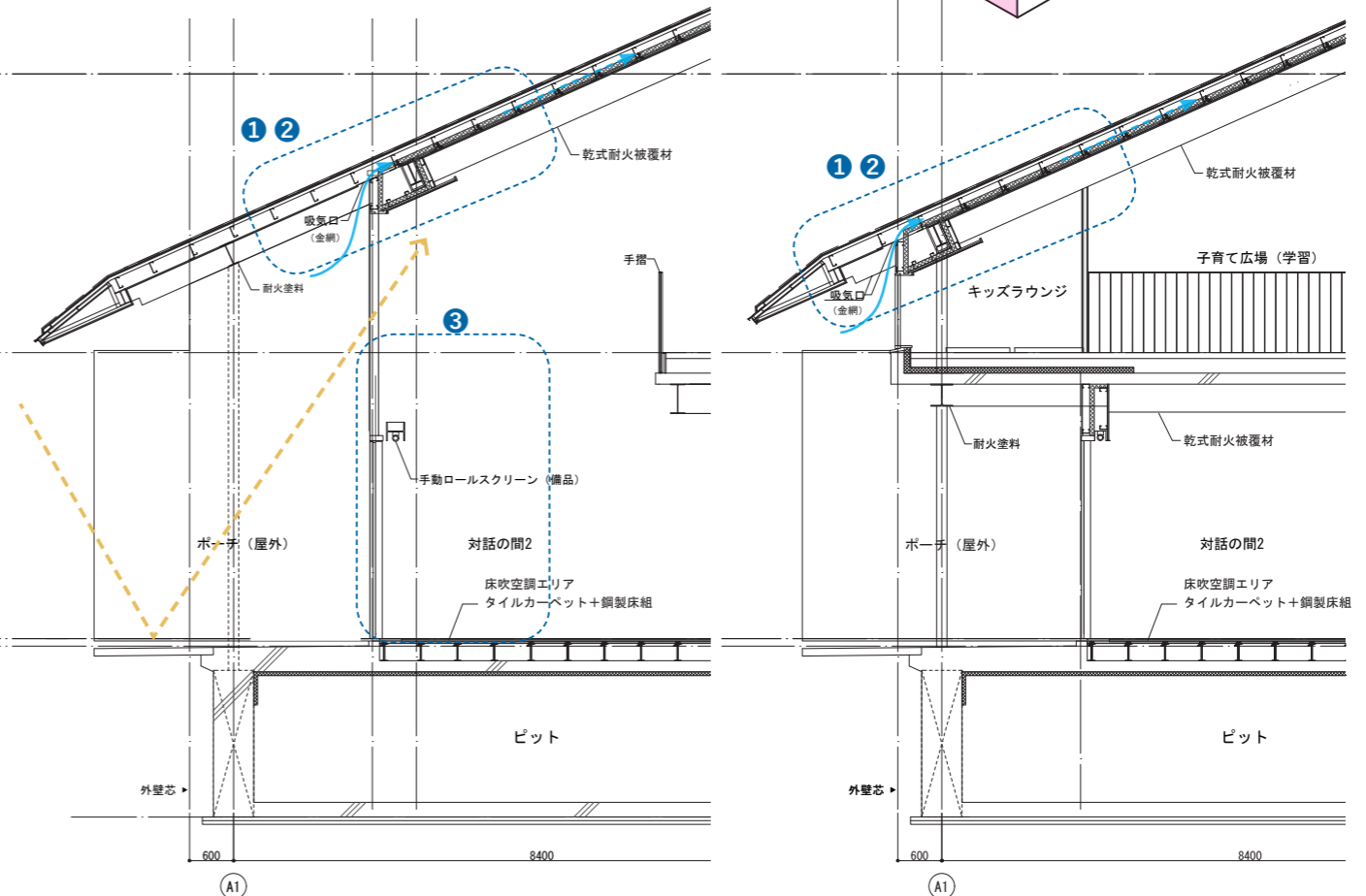
- ・屋根の通気吸気口は外壁際の軒天に設置
- ・屋根の頂部近くにダクト接続し、冬期は熱を回収 (納まり検討中)
- ・熱回収を行う屋根は、頂部に高さがあり、3F 空調機械室に接続しやすい「屋根 A・B・C」の3面を利用



立面図



平面図



南東側B7-B8

南東側B4-B5

③ 深い軒庇を生かした日射コントロール (窓廻り)

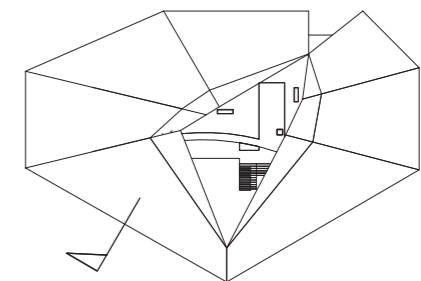
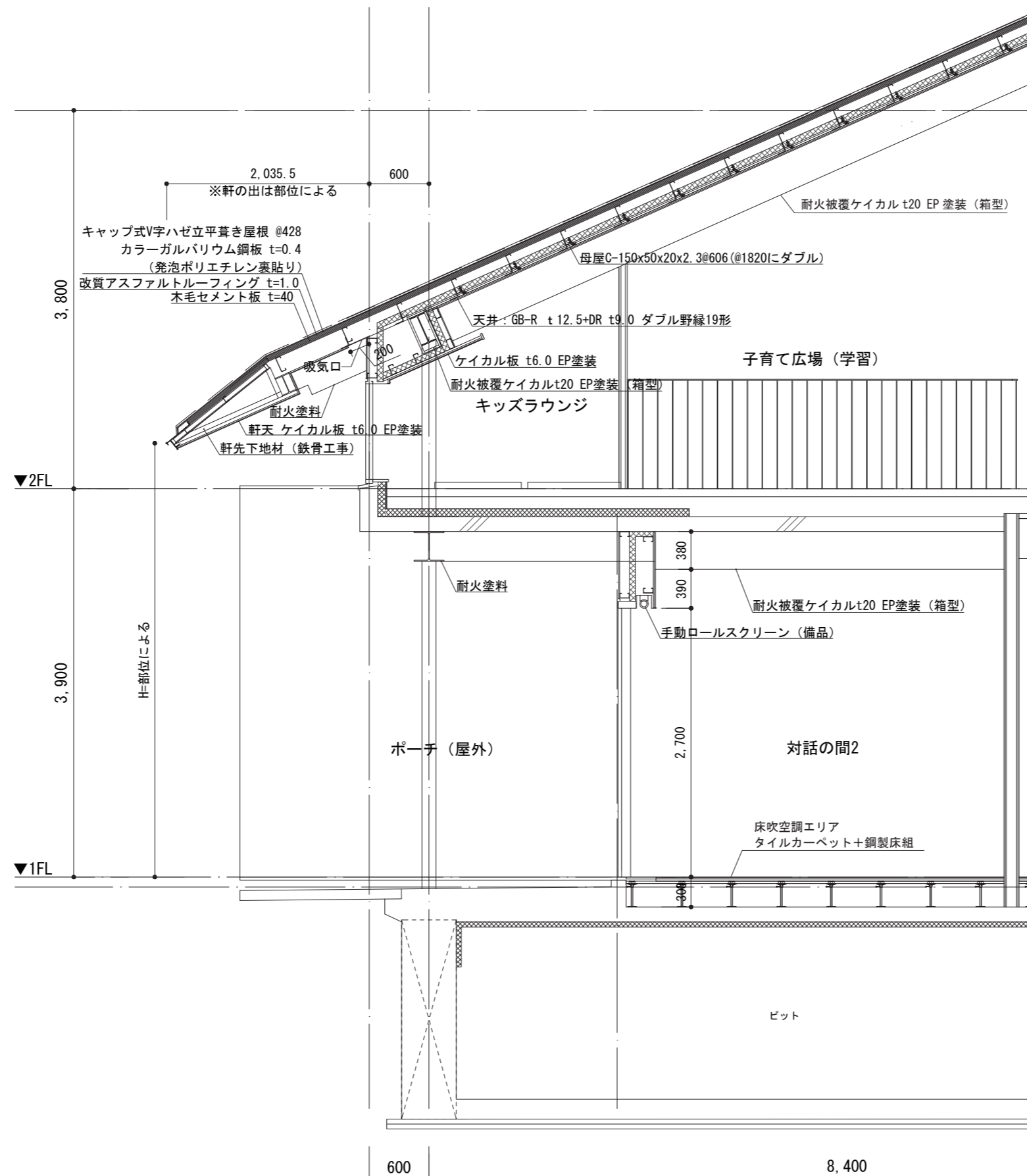
- ・1Fの窓高さはH2,700mmに統一。2層吹抜け部も無目を入れ、H2,700mmの高さにロールスクリーンを設定 (耐風梁をBOX兼用とする) ※ 手動ロールスクリーンは備品工事
- ・2F部分の高さの窓は、深い軒庇により日影遮蔽できることからロールスクリーンは設置せず、間接光を取り入れる



図: 参考イメージ

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

6-8. 略矩計図 - 屋根詳細図 (A3: 1/50)



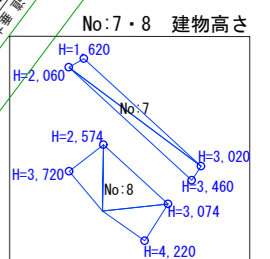
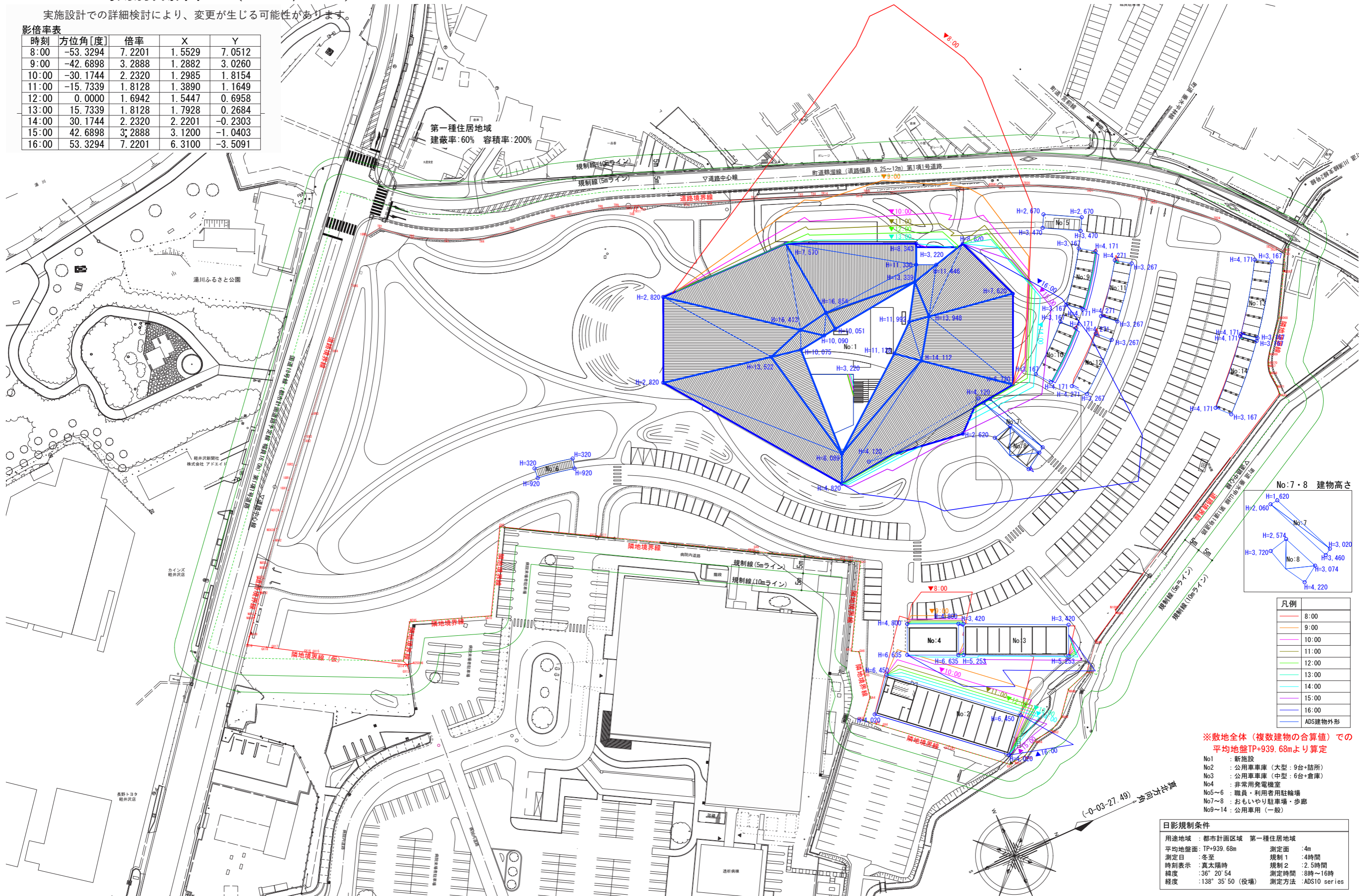
実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

6-9. 時刻別日影図 (A3: 1/1000)

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

影倍率表

時刻	方位角[度]	倍率	X	Y
8:00	-53.3294	7.2201	1.5529	7.0512
9:00	-42.6898	3.2888	1.2882	3.0260
10:00	-30.1744	2.2320	1.2985	1.8154
11:00	-15.7339	1.8128	1.3890	1.1649
12:00	0.0000	1.6942	1.5447	0.6958
13:00	15.7339	1.8128	1.7928	0.2684
14:00	30.1744	2.2320	2.2201	-0.2303
15:00	42.6898	3.2888	3.1200	-1.0403
16:00	53.3294	7.2201	6.3100	-3.5091



凡例

8:00
9:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
ADS建物外形

※敷地全体（複数建物の合算値）での平均地盤TP+939.68mより算定

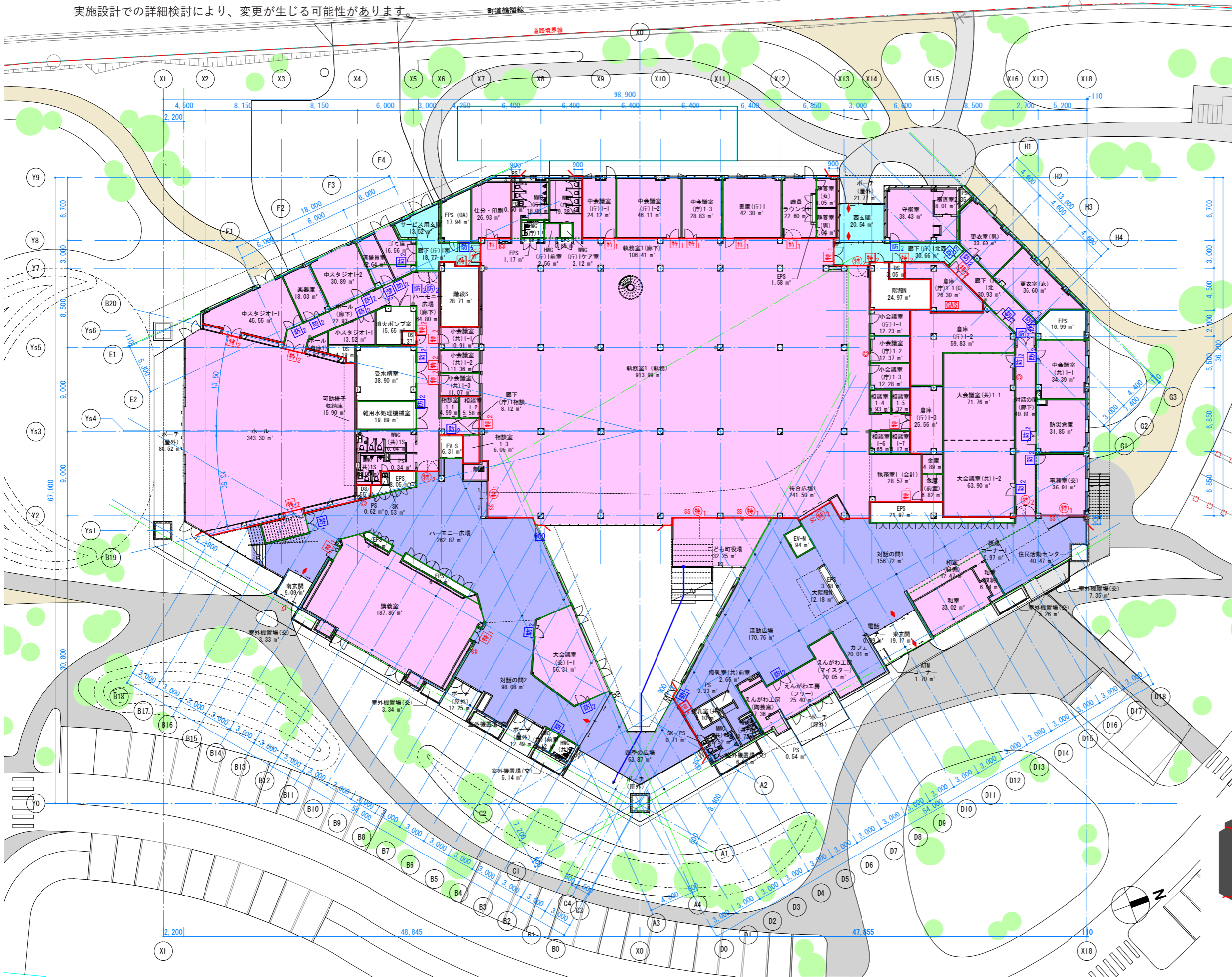
- No1 : 新施設
- No2 : 公用車庫（大型：9台+詰所）
- No3 : 公用車庫（中型：6台+倉庫）
- No4 : 非常用発電機室
- No5~6 : 職員・利用者用駐輪場
- No7~8 : おもいやり駐車場・歩廊
- No9~14 : 公用車用（一般）

日影規制条件

用途地域 : 都市計画区域 第一種住居地域	測定面 : 4m
平均地盤面 : TP+939.68m	測定日 : 冬至
時刻表示 : 真太陽時	規制1 : 4時間
緯度 : 36° 20' 54"	規制2 : 2.5時間
経度 : 138° 35' 50" (役場)	測定時間 : 8時~16時
	測定方法 : ADS10 series

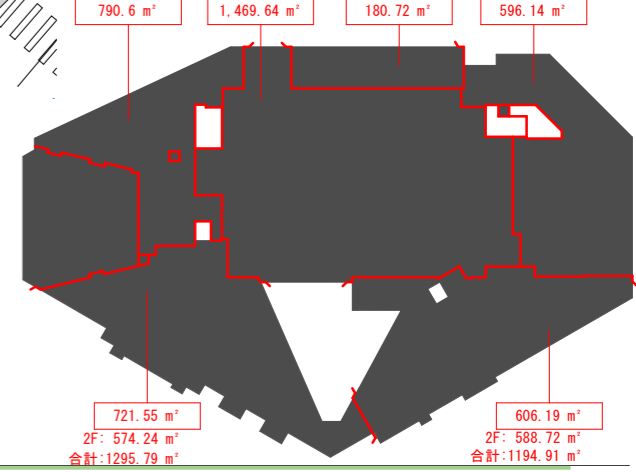
6-11. 法チェック図 - 1階 (A3:1/400)

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。



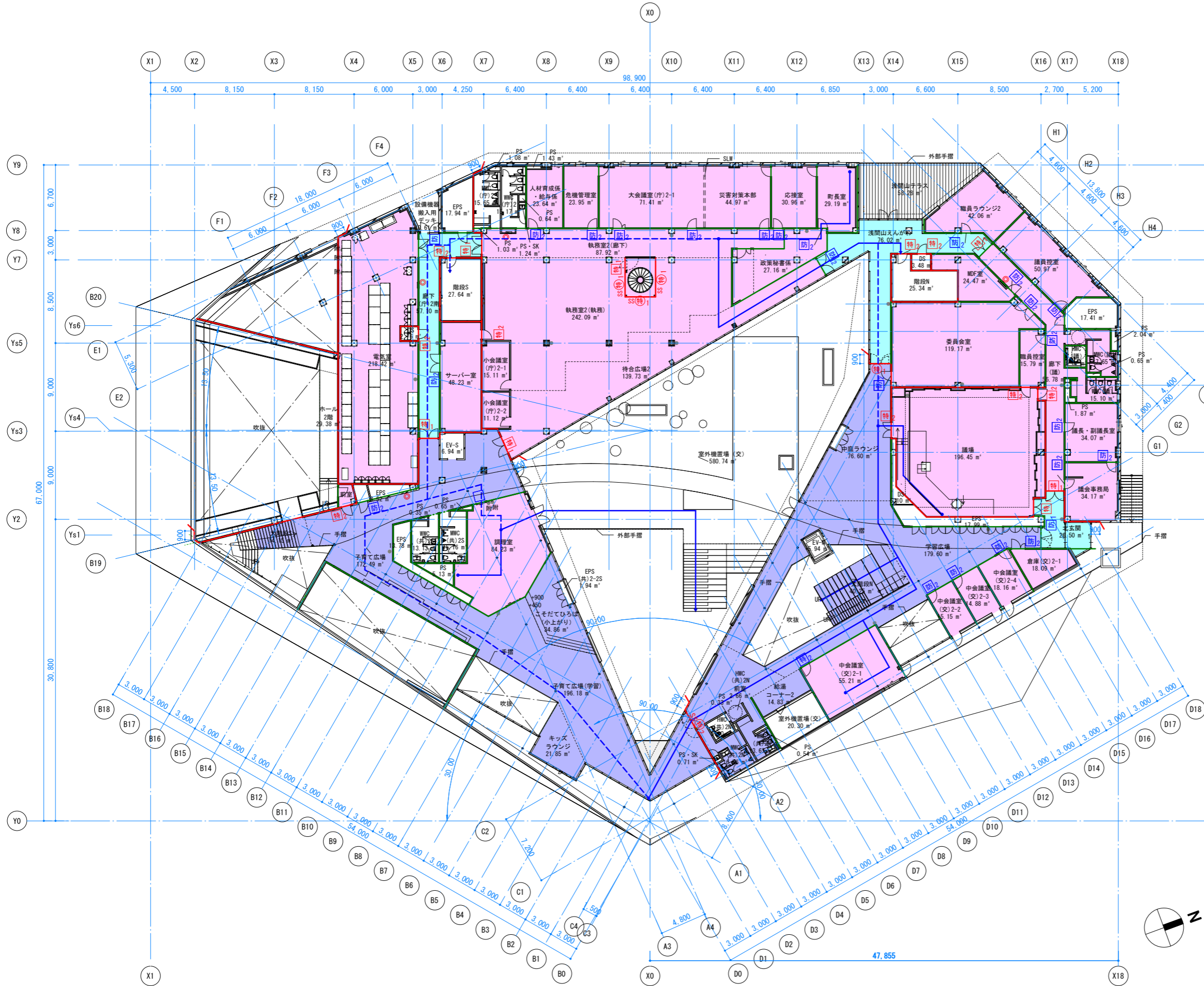
凡例	
	防火区画 (面積区画)
	防煙区画 (間仕切壁) (建具上部はH300以上)
	防煙区画 (垂れ壁) 特記なき限り (H=500)
	延焼の恐れのある部分
特1	特定防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能なし
特2	特定防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能あり
特	特定防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能なし
特2	特定防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能あり
防1	防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能なし
防2	防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能あり
防	防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能なし
防2	防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能あり
SS	防火防煙シャッター
防	防火設備 (耐熱強化ガラス等)
不燃	不燃扉
	避難安全検証法 自然排煙区域 (1/50以上)
	避難安全検証法 自然排煙区域 (1/50未満)
	避難安全検証法 無排煙区域
白抜き	建設省告示第1440号による火災の恐れのない室
GAS	不活性ガス消化区域
不燃消	消防法上不燃区画となる室
避難	避難経路
口内	口内の数字: 歩行距離
◇内	◇内の数字: 重複歩行距離
◆	電気錠: 自動火災報知設備の感知器と連動解放 (強制開放)
◇	電気錠: 自動火災報知設備の感知器と連動施錠
←	自然排煙口
屋外	屋外 (屋外) 消火栓、連結送水管
消火	消火器 (埋込型)
消火	消火器 (置き型)
計画	計画重複距離、**法定避難距離
▶	代替出入口

・特記なき防煙区画の建具は、不燃扉とする。
 ・EPS/PSは水平区画とする。
 ・消火器は歩行距離20m以内ごとに設置
 ・防火区画間の外壁は900mm以上を耐火構造とする。



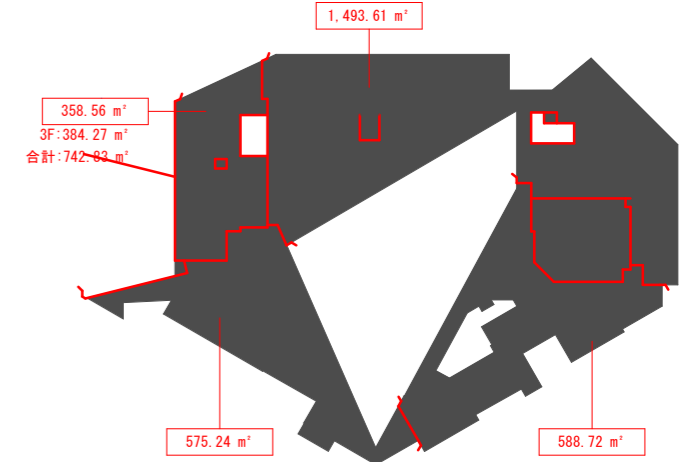
6-11. 法チェック図 - 2階 (A3:1/400)

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。



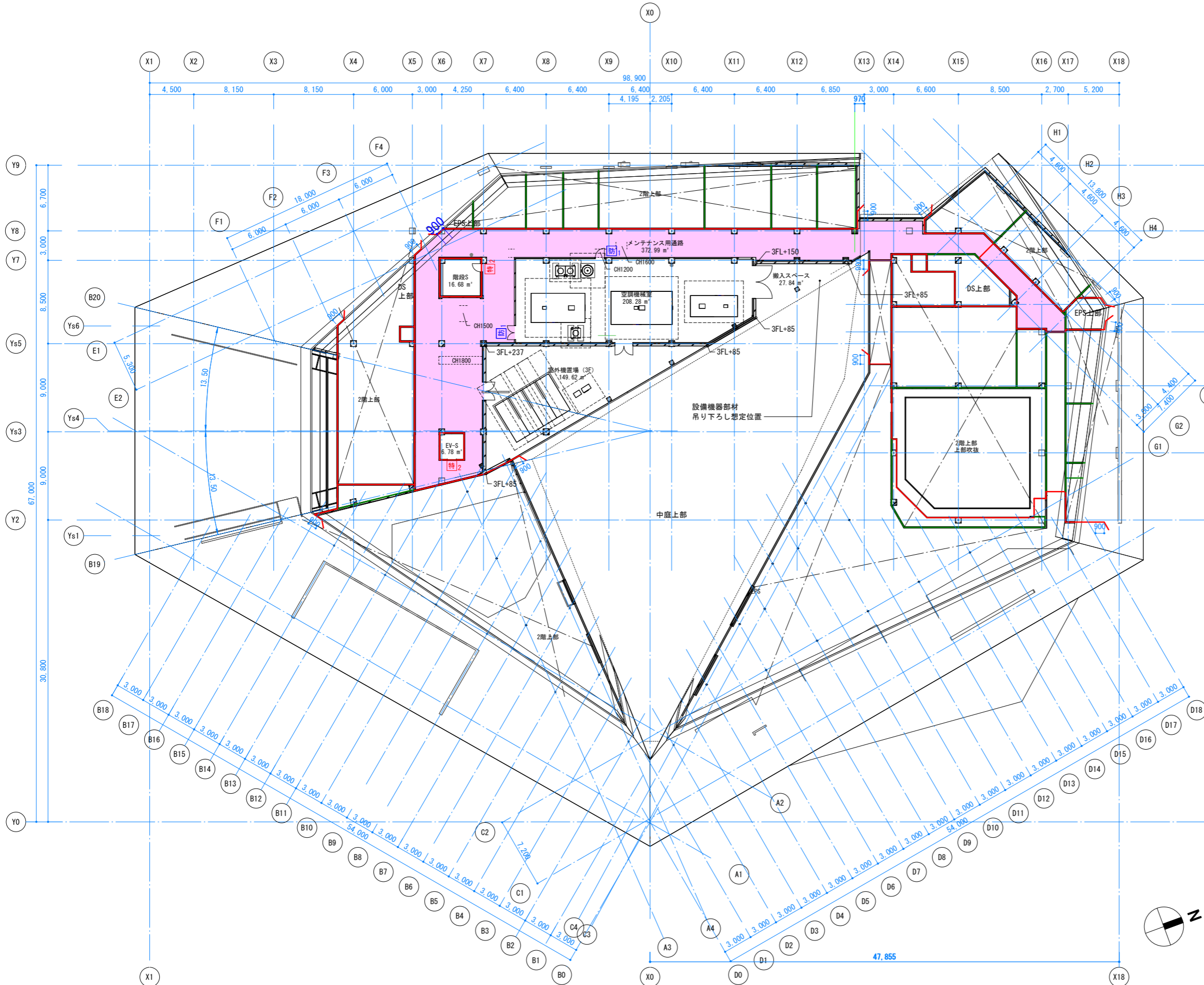
凡例	
—	防火区画 (面積区画)
—	防煙区画 (間仕切壁) (建具上部はH300以上)
—	防煙区画 (垂れ壁) 特記なき限り (H=500)
—	延焼の恐れのある部分
[特1]	特定防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能なし
[特2]	特定防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能あり
[特]	特定防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能なし
[特2]	特定防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能あり
[防1]	防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能なし
[防2]	防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能あり
[防1]	防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能なし
[防2]	防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能あり
SS	防火防煙シャッター
[防]	防火設備 (耐熱強化ガラス等)
[不]	不燃扉
□	避難安全検証法 自然排煙区域 (1/50以上)
□	避難安全検証法 自然排煙区域 (1/50未満)
□	避難安全検証法 無排煙区域
[白抜き]	建設省告示第1440号による火災の恐れのない室
[GAS]	不活性ガス消化区域
[不燃(消)]	消防法上不燃区画となる室
—	避難経路
[口内の数字]	歩行距離
[◇内の数字]	重複歩行距離
◆	電気錠: 自動火災報知設備の感知器と連動解除 (強制開放)
◆	電気錠: 自動火災報知設備の感知器と連動施錠
←	自然排煙口
■	屋内(屋外)消火栓、連絡送水管
○	消火器 (埋込型)
●	消火器 (置き型)
◇	計画重複距離、**法定避難距離
▶	代替出入口

・特記なき防煙区画の建具は、不燃扉とする。
 ・EPS/PSは水平区画とする。
 ・消火器は歩行距離20m以内ごとに設置
 ・防火区画間の外壁は900mm以上を耐火構造とする。



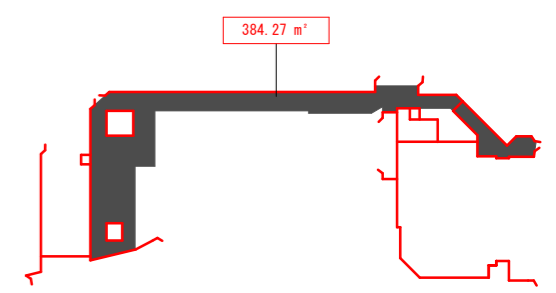
6-11. 法チェック図 - 3階 (A3:1/400)

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。



凡例	
—	防火区画 (面積区画)
—	防煙区画 (間仕切壁) (建具上部はH300以上)
- - -	防煙区画 (垂れ壁) 特記なき限り (H=500)
—	延焼の恐れのある部分
特1	特定防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能なし
特2	特定防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能あり
特	特定防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能なし
特2	特定防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能あり
防1	防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能なし
防2	防火設備: 常時閉鎖型・遮煙性能あり
防1	防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能なし
防2	防火設備: 感知器連動随時閉鎖型・遮煙性能あり
SS	防火防煙シャッター
防	防火設備 (耐熱強化ガラス等)
不	不燃扉
	避難安全検証法 自然排煙区域 (1/50以上)
	避難安全検証法 自然排煙区域 (1/50未満)
	避難安全検証法 無排煙区域
(白抜き)	建設省告示第144号による火災の恐れのない室
GAS	不活性ガス消化区域
不燃(消)	消防上不燃区画となる室
—	避難経路
□	□内の数字: 歩行距離
◇	◇内の数字: 重複歩行距離
◆	電気錠: 自動火災報知設備の感知器と連動解放(強制開放)
◇	電気錠: 自動火災報知設備の感知器と連動施錠
←	自然排煙口
▬	屋内(屋外)消火栓、連絡送水管
●	消火器 (埋込型)
●	消火器 (置き型)
◇	計画重複距離、**法定避難距離
▶	代替出入口

・特記なき防煙区画の建具は、不燃扉とする。
 ・EPS/PSは水平区画とする。
 ・消火器は歩行距離20m以内ごとに設置
 ・防火区画間の外壁は900mm以上を耐火構造とする。



6-12. 諸元表 - 各室面積・仕上

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

階数	機能	室名	面積		人員		備考	建築								
			基本計画時 面積 (基本設計時 要望反映)	基本設計 計画面積	在籍数	席数		天井高さ	FL/SL	床				壁		天井
										仕上	床下地	幅木仕上げ	幅木H	仕上	仕上	回り縁
1FL	庁舎機能	執務室1(執務)	1,050.00㎡	920.00㎡	205人	164人	在籍率80%とする	直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-
		執務室1(会計)	内 相談ブース24 ㎡ 給湯13㎡	30.00㎡	5人	5人		直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-
		執務室1(廊下)		110.00㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10,- 100	タイルカーペット(汎用)	(一部)OAフロア H100 +防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-
		中会議室(庁)1-1		60.00㎡	24.50㎡			収容人数16人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0
		中会議室(庁)1-2	*	46.50㎡			収容人数24人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		中会議室(庁)1-3	*	29.00㎡			収容人数16人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		小会議室(庁)1-1	20.00㎡	12.50㎡			収容人数6人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		小会議室(庁)1-2	*	12.50㎡			収容人数6人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		小会議室(庁)1-3	10.00㎡	12.50㎡			収容人数6人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		相談室 1-1	45.00㎡	5.00㎡			収容人数4人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		相談室 1-2	*	5.00㎡			収容人数4人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	cut	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		相談室 1-3	*	5.50㎡			収容人数2人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		相談室 1-4	*	6.00㎡			収容人数4人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		相談室 1-5	*	5.50㎡			収容人数4人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		相談室 1-6	*	6.00㎡			収容人数4人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		相談室 1-7	*	5.50㎡			収容人数4人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		仕分・印刷	20.00㎡	27.00㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		職員 ラウンジ1	55.00㎡	25.00㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		静養室(男)	10.00㎡	8.00㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		静養室(女)	*	8.50㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		更衣室(男)	85.00㎡	35.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		更衣室(女)	*	37.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		守衛室	40.00㎡	38.50㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		宿直室	6.00㎡	8.50㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		金庫	4.00㎡	5.00㎡				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	EP	-
		金庫(前室)	-	7.00㎡				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	EP	-
		書庫(庁)1	30.00㎡	42.50㎡			最低収納量:6.2fm×229人	直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	EP	-
		倉庫(庁)1-1(G)	130.00㎡	26.50㎡			最低収納量:戸籍47.7f m+マイナンバー82.56fm	直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	EP	-
		倉庫(庁)1-2	*	60.00㎡				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	EP	-
		倉庫(庁)1-3	*	26.00㎡				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	EP	-
		清掃員室	10.00㎡	13.00㎡	5人	5人		2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		ゴミ庫	30.00㎡	17.00㎡				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	GB-NC-D t9.5	-
		MWC(庁)1	75.00㎡	18.50㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		WWC(庁)1	*	19.50㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		WWC(庁)1ケア室	*	2.50㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		HWC(庁)1	*	5.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		HWC(庁)1前室	*	3.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		待合広場1	300.00㎡	264.50㎡				直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用) 一部 表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80)	CK / (一部)OAフロア H100 +防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-
		サービス用玄関	*	16.00㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		西玄関	*	21.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
廊下(庁)1南	70.00㎡	20.00㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-		
廊下(庁)1相談	*	10.00㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-		
廊下(庁)1北西	*	35.00㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-		
		小計	2,050.00㎡	2035.50㎡												

CK: コンクリートタンピングのうえ、金コテ押え / EP: 合成樹脂エマルジョンペイント / GB-R: せっこうボード / DR: 岩綿吸音板 / GWG: グラスウールガラスクロス包み / GB-NC-D: 不燃積層せっこうボード(トラバーチン) / FK: けい酸カルシウム板 / FK-P: けい酸カルシウム板(穴あき)

6-12. 諸元表 - 各室面積・仕上

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

階数	機能	室名	面積		人員		備考	建築								
			基本計画時 面積 (基本設計時 要望反映)	基本設計 計画面積	在籍数	席数		天井高さ	FL/SL	仕上	床 床下地	壁 仕上	天井 仕上	回り縁		
1F	共用機能	大会議室(共)1-1	90.00㎡	72.00㎡			収容人数24人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		大会議室(共)1-2	80.00㎡	64.00㎡			収容人数24人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		中会議室(共)1-1	40.00㎡	34.50㎡			収容人数16人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		小会議室(共)1-1	30.00㎡	10.50㎡			収容人数6人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		小会議室(共)1-2	*	11.00㎡			収容人数6人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		小会議室(共)1-3	*	10.50㎡			収容人数6人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		住民活動センター	50.00㎡	40.50㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		こども町役場	30.00㎡	34.00㎡				直天(仮想1,800~2)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP	-
		ハーモニー広場	430.00㎡	260.00㎡				2,900	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		ハーモニー広場(廊下)	*	65.00㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	素地(ボード壁、RC壁共通)	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-
		南玄関	*	9.50㎡				2,600	±0/-10	表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80)	CK	ビニル巾木	60	素地(ボード壁、RC壁共通)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		対話の間2	*	100.50㎡				2,900	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		四季の広場	*	64.50㎡				2,900	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		活動広場	420.00㎡	156.00㎡				2,900	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		カフェ	*	20.50㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(調理室・作業用)	CK	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		東玄関	*	19.50㎡				2,600	±0/-80	表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80)	CK	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		対話の間1	*	155.50㎡				2,900	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		対話の間(廊下)	*	41.00㎡				2,900	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		給湯 コーナー1	*	6.00㎡				2,900	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		ATM コーナー	3.00㎡	2.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		電話 コーナー	*	1.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
		MWC(共)1S	75.00㎡	16.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○
		WWC(共)1S	*	17.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○
		MWC(共)1N	*	17.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○
	WWC(共)1N	*	14.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○	
	授乳室(共)	*	6.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○	
	授乳室(共)前室	*	3.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○	
	HWC(共)1	*	6.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○	
	HWC(共)1前室	*	5.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○	
	防災倉庫	35.00㎡	32.00㎡			防災計画に基づき必要量 算定/屋外にも計画	直天	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	素地	-	
	小計			1,283.00㎡	1,294.00㎡											
	交流センター	ホール	500.00㎡	344.00㎡			[既存]大講堂:471㎡	直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(軽運動用)	CK	ビニル巾木	60	FK-P t8の上EP+吸音板(30%) / FKt8の上EP(70%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○
ホール(廊下)		-	24.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(軽運動用)	CK	ビニル巾木	60	FK-P t8の上EP+吸音板(30%) / FKt8の上EP(70%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
可動椅子収納		*	17.00㎡				2,400	±0/-10	ビニル床シート(軽運動用)	CK	ビニル巾木	60	FK-P t8の上EP+吸音板(30%) / FKt8の上EP(70%)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
中スタジオ1-1		100.00㎡	46.00㎡			[既存]視聴覚室:45㎡	直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	FK-P t8の上EP+吸音板(30%) / FKt8の上EP(70%)	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	○	
中スタジオ1-2		*	31.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	FK-P t8の上EP+吸音板(30%) / FKt8の上EP(70%)	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	○	
小スタジオ1-1		*	19.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	FK-P t8の上EP+吸音板(30%) / FKt8の上EP(70%)	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	○	
楽器庫		-	18.50㎡				2,400	±0/-10	防塵塗床	CK	ビニル巾木	60	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
講義室		200.00㎡	187.50㎡			収容人数84人 [既存]第3会議室:81㎡	斜め天井	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
大会議室(交)1-1		90.00㎡	57.50㎡			収容人数20人	2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
和室		80.00㎡	34.50㎡			要望床面積(8畳×2) [既存]教養室A:31㎡	2,300	±300/-10	ビニル畳	鋼製床組+防塵塗装	ビニル巾木	60	ビニルクロス(和室)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
和室(縁側)		*	13.50㎡				2,300	±300/-10	ビニル畳	鋼製床組+防塵塗装	ビニル巾木	60	ビニルクロス(和室)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
和室(収納)		10.00㎡	7.50㎡				2,600	±300/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	ビニルクロス(和室)	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
えんがわ工房(フリー)		50.00㎡	26.50㎡			[既存]陶芸室:37㎡	2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
えんがわ工房(マイスター)		*	21.50㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
えんがわ工房(陶芸窯)		*	18.50㎡			電気釜設置スペース	2,600	±0/-10	防塵塗床	CK	ビニル巾木	60	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
事務室(交)		80.00㎡	38.00㎡	5	5人		2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+Drt9.0	○	
小計			1,110.00㎡	904.50㎡												
バックヤード ・動線	雑用水処理機械室	74.00㎡	25.00㎡				直天	-300/-550	ウレタン塗床	CK	床同材仕上	100	GWG32K t50	素地(梁型)/GWG32K t50	-	
	消火ポンプ室	*	21.00㎡				直天	-300/-550	ウレタン塗床	CK	床同材仕上	100	GWG32K t50	素地(梁型)/GWG32K t50	-	
	受水槽室	*	44.00㎡				直天	-300/-550	ウレタン塗床	CK	床同材仕上	100	GWG32K t50	素地(梁型)/GWG32K t50	-	
	小計			74.00㎡	90.00㎡											
1F 合計			4,517.00㎡	4,324.00㎡	215人	179人										

CK: コンクリートタンピングのうえ、金コテ押え / EP: 合成樹脂エマルジョンペイント / GB-R: せっこうボード / DR: 岩綿吸音板 / GWG: グラスウールガラスクロス包み / GB-NC-D: 不燃積層せっこうボード(トラバーチン) / FK: けい酸カルシウム板 / FK-P: けい酸カルシウム板(穴あき)

6-12. 諸元表 - 各室面積・仕上

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

階数	機能	室名	面積		人員		備考	建築									
			基本計画時 面積 (基本設計時 要望反映)	基本設計 計画面積	在籍数	席数		天井高さ	FL/SL	床				壁		天井	
										仕上	床下地	幅木仕上げ	幅木H	仕上	仕上	回り縁	
2FL	庁舎機能	執務室2(執務)	253.00㎡	245.00㎡	51人	41人	在籍率80%とする	直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		執務室2(廊下)	*	89.50㎡				直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		小会議室(庁)2-1	-	15.50㎡				直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		小会議室(庁)2-2	-	11.50㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		政策秘書係	26.00㎡	27.50㎡	4人	4人		直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		応接室	40.00㎡	31.00㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(上級)	CK	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	天井クロス(壁 織物クロス同等)	○
		町長室	31.00㎡	29.50㎡	1人	1人		2,600	±0/-10	タイルカーペット(上級)	CK	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	天井クロス(壁 織物クロス同等)	○
		大会議室(庁)2-1	100.00㎡	71.50㎡				直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		災害対策本部	50.00㎡	45.00㎡				直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		危機管理室	38.00㎡	24.00㎡	2人	2人		直天(仮想2,600)	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		人材育成係・給与係	20.00㎡	24.00㎡	5人	5人		2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		待合広場2	150.00㎡	140.00㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP(直天部)+GWG t32K(薄型ブラック) (50%)	-	
		MWC(庁)2	75.00㎡	16.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○	
		WWC(庁)2	*	16.50㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-NC-D t9.5	○	
廊下(庁)2南	70.00㎡	57.50㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP	-			
	小計	853.00㎡	844.00㎡														
議会機能	議会機能	議場	215.00㎡	202.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-100	タイルカーペット(上級)	鋼製床組	ビニル巾木	60		吸音板(布張り)(30%)+不燃ストランドボード(70%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		委員会室	110.00㎡	120.00㎡				3,000	±0/-100	タイルカーペット(汎用)	OAフロア H100+防塵塗装	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	-	
		議員控室	135.00㎡	51.00㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		議長・副議長室	49.00㎡	34.50㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		議会事務局	60.00㎡	34.50㎡	4人	4人		2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		職員控室	30.00㎡	16.00㎡				2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		MWC(議)	-	18.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		WWC(議)	-	15.50㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		HWC(議)	-	5.50㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		廊下(議)	121.00㎡	53.00㎡				直天(仮想2,600)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP	-	
	小計	720.00㎡	550.00㎡														
共用機能	共用機能	子育て広場	500.00㎡	175.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		子育て広場(学習)	*	199.00㎡				2,600	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		浅間山えんがわ	*	77.00㎡				直天(斜め天井)	+900,450/-10,300	タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		大階段S	*	15.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		キッズ ラウンジ	30.00㎡	22.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		学習広場	350.00㎡	180.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	CK+床空調対象部のみ鋼製床組	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		中庭ラウンジ	*	84.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10,300	ビニル床シート(一般仕様) 小径:表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80) 床空調部:タイルカーペット(汎用)	XPSt50+XPSw100×H150 @235 一部 鋼製床組+防塵塗装	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		大階段N	*	13.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		北玄関	*	24.00㎡				2,600	±0/-80	表面強化材 コンクリート磨き仕上(t80)	CK	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		給湯 コーナー2	*	15.00㎡				直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		職員ラウンジ2	55.00㎡	42.50㎡				直天(斜め天井)	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60		織物クロス(70%)+不燃ストランドボード(30%)	GB-Rt9.5+DRt9.0	○
		MWC(共)2S	75.00㎡	16.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		WWC(共)2S	*	14.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		MWC(共)2N	*	17.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		WWC(共)2N	*	14.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		HWC(共)2N	*	6.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
HWC(共)2N 前室	*	3.00㎡				2,600	±0/-10	ビニル床シート(トイレ用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○			
	小計	1,010.00㎡	916.50㎡														

CK: コンクリートタンピングのうえ、金コテ押え / EP: 合成樹脂エマルジョンペイント / GB-R: せっこうボード / DR: 岩綿吸音板 / GWG: グラスウールガラスクロス包み / GB-NC-D: 不燃積層せっこうボード(トラバーチン) / FK: けい酸カルシウム板 / FK-P: けい酸カルシウム板(穴あき)

6-12. 諸元表 - 各室面積・仕上

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

階数	機能	室名	面積		人員		備考	建築									
			基本計画時 面積 (基本設計時 要望反映)	基本設計 計画面積	在籍数	席数		天井高さ	FL/SL	床				壁		天井	
										仕上	床下地	幅木仕上げ	幅木H	仕上	仕上	回り縁	
2F	交流センター	ホール 2階	-	29.50 m ²				直天(斜め天井)	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		調理室	70.00 m ²	85.00 m ²			[既存]料理教室A: 78 m ²	2,600	±0/-10	ビニル床シート(調理室・工作室用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		中会議室(交)2-1	80.00 m ²	57.50 m ²			収容人数28人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		中会議室(交)2-2	*	17.50 m ²			収容人数8人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		中会議室(交)2-3	*	17.00 m ²			収容人数8人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		中会議室(交)2-4	*	20.50 m ²			収容人数8人	2,600	±0/-10	タイルカーペット(汎用)	CK	ビニル巾木	60	EP	GB-Rt9.5+DRt9.0	○	
		倉庫(交)2-1	85.00 m ²	18.50 m ²				直天(斜め天井)	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
		小計	235.00 m ²	245.50 m ²													
	バックヤード	電気室	190.00 m ²	220.00 m ²				直天	-350/-600	防塵塗床		機械室用浮床(防振対応)	床同材仕上	100	GWG32K t50	素地(梁型)/GWG32K t50	-
		サーバー室	45.00 m ²	50.00 m ²				直天	±0/-300	タイルカーペット(汎用)		フリーアクセスフロア	ビニル巾木	60	EP	素地(梁型)/GWG32K t50	-
		MDF室	*	20.00 m ²				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	ビニル巾木	60	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地(梁型)/GWG32K t50	-	
			小計	235.00 m ²	290.00 m ²												
		2F 合計	3,053.00 m²	2,846.00 m²													
	3F	バックヤード	空調機械室	535.00 m ²	223.50 m ²				直天	±0/-250	ウレタン塗床		機械室用浮床(防振対応)	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地(梁型)/GWG32K t50
メンテナンス用通路			*	392.50 m ²				直天	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	素地	-	
		小計	535.00 m ²	616.00 m ²													
	3F 合計	535.00 m²	616.00 m²			0人	0人										
共通	共用機能	階段S	375.00 m ²	73.50 m ²				直天	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	ビニル巾木	60	EP	EP	-	
		階段N	*	50.50 m ²				直天	±0/-10	ビニル床シート(一般仕様)	CK	床同材仕上	100	EP	EP	-	
		EV-S	*	20.00 m ²				直天	±0/-10	素地	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
		EV-N	*	20.00 m ²				直天	±0/-10	素地	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
	バックヤード	EPS(OA)	*	21.00 m ²				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
		EPS	*	146.50 m ²				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
		DS	*	21.50 m ²				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
		PS	*	31.00 m ²				直天	±0/-10	防塵塗床	CK	床同材仕上	100	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
			小計	375.00 m ²	384.00 m ²												
	ビット	雑用水槽	-	-				-	-	ポリマーセメント系防水	-	-	-	ポリマーセメント系防水	素地	-	
		消火水槽	-	-				-	-	ポリマーセメント系防水	-	-	-	ポリマーセメント系防水	素地	-	
		緊急汚水槽	-	-				-	-	ノンスチレン型ビニルエステル樹脂	-	-	-	ノンスチレン型ビニルエステル樹脂	ノンスチレン型ビニルエステル樹脂	-	
		EVビット	-	-				-	-	素地	-	-	-	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
		配管ビット	-	-				-	-	素地	-	-	-	素地(ボード壁、RC壁共通)	素地	-	
	共通 合計	375.00 m²	384.00 m²			0人	0人										
屋内用途面積			8480.00 m²	8170.00 m²			282人	236人									
屋外 (面積算定範囲)	ポーチ(屋外)	100.00 m ²	147.00 m ²														
	駐輪場	*	0.00 m ²														
	室外機置場(交)	*	57.00 m ²														
	浅間山テラス	*	0.00 m ²														
	設備機器 搬入用 デッキ	*	11.00 m ²														
	室外機置場(3F)	*	137.00 m ²														
	搬入スペース	*	28.00 m ²														
	屋外面積 合計	100.00 m²	380.00 m²														
延べ面積(屋内用途面積+屋外面積)			8,580.00 m²	8550.00 m²													

CK: コンクリートタンピングのうえ、金コテ押え / EP: 合成樹脂エマルジョンペイント / GB-R: せっこうボード / DR: 岩綿吸音板 / GWG: グラスウールガラスクロス包み / GB-NC-D: 不燃積層せっこうボード(トラバーチン) / FK: けい酸カルシウム板 / FK-P: けい酸カルシウム板(穴あき)

6-12. 諸元表 - 電気設備

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

階数	機能	室名	電気設備																
			照度 (lx)	照明器具	点滅制御	センサ制御	コンセント	電源容量 (VA/m ²)	電源種別 (割合は災害時対応計画による)	有線LAN 配管対応	無線LAN 配管対応	放送	TV端子	電気時計	呼出	監視カメラ ※0内は監視エリアを示す	入退室管理	映像・音響	備考
1FL	庁舎機能	執務室1(執務)	500	直付けベースライト	リモコン	人感・明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		執務室1(会計)	500	直付けベースライト	リモコン	人感・明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		執務室1(廊下)	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	—	—	—	—	○	—	—
		中会議室(庁)1-1	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		中会議室(庁)1-2	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		中会議室(庁)1-3	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		小会議室(庁)1-1	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		小会議室(庁)1-2	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		小会議室(庁)1-3	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		相談室 1-1	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		相談室 1-2	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		相談室 1-3	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		相談室 1-4	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		相談室 1-5	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		相談室 1-6	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		相談室 1-7	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		仕分・印刷	500	埋込ベースライト	リモコン	—	○	印刷機コンセント	AC、AC/GC	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		職員 ラウンジ1	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		静養室(男)	200	埋込ベースライト	リモコン	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		静養室(女)	200	埋込ベースライト	リモコン	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		更衣室(男)	200	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—
		更衣室(女)	200	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—
		守衛室	500	埋込ベースライト	タンブラ	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○(アンプ)	—	○	—	—	—	—	—
		宿直室	200	埋込ベースライト	タンブラ	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
		金庫	100	埋込ベースライト	—	人感センサー	—	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		金庫(前室)	100	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		書庫(庁)1	200	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		倉庫(庁)1-1(G)	100	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		倉庫(庁)1-2	100	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		倉庫(庁)1-3	100	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		清掃員室	300	埋込ベースライト	タンブラ	—	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		ゴミ庫	100	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		MWC(庁)1	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		WWC(庁)1	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		WWC(庁)1ケア室	200	埋込ダウンライト	タンブラ	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		HWC(庁)1	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—
		HWC(庁)1前室	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		待合広場1	200	直付けベースライト	スケジュール	明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	○	—	—	—	(○)	—	—
		サービス用玄関	100	埋込ダウンライト	スケジュール	—	—	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		西玄関	100	埋込ダウンライト	スケジュール	—	—	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
廊下(庁)1南	100	直付けベースライト	スケジュール	—	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	(○)	○	—		
廊下(庁)1相談	100	直付けベースライト	スケジュール	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—		
廊下(庁)1北西	100	直付けベースライト	スケジュール	—	○	—	AC	—	—	○	○	—	—	—	(○)	○	—		
		小計																	

6-12. 諸元表 - 電気設備

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

階数	機能	室名	電気設備																
			照度 (lx)	照明器具	点滅制御	センサ制御	コンセント	電源容量 (VA/m ²)	電源種別 (割合は災害時対応計画による)	有線LAN 配管対応	無線LAN 配管対応	放送	TV端子	電気時計	呼出	監視カメラ ※0内は監視エリアを示す	入退室管理	映像・音響	備考
1F	共用機能	大会議室(共)1-1	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	○	○	—	—	—	○(配管のみ)	
		大会議室(共)1-2	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	○	○	—	—	—	○(配管のみ)	
		中会議室(共)1-1	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	
		小会議室(共)1-1	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	
		小会議室(共)1-2	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	
		小会議室(共)1-3	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	
		住民活動センター	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	
		こども町役場	200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
		ハーモニー広場	200	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	(○)	—	
		ハーモニー広場(廊下)	200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	(○)	—	
		南玄関	100	埋込ダウンライト	スケジュール	—	—	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
		対話の間2	200	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	—	—	
		四季の広場	200	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	—	—	
		活動広場	200	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	(○)	—	
		カフェ	300	埋込ダウンライト	タンブラ	—	○	1φ 15kVA 3φ 30kVA	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
		東玄関	100	埋込ダウンライト	スケジュール	—	—	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
		対話の間1	200	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	(○)	—	
		対話の間(廊下)	200	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	(○)	—	
		給湯 コーナー1	200	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
		ATM コーナー	300	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	—	—	
		電話 コーナー	300	埋込ダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	—	—	
		MWC(共)1S	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
		WWC(共)1S	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
		MWC(共)1N	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
	WWC(共)1N	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
	授乳室(共)	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
	授乳室(共)前室	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
	HWC(共)1	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	○	—	—	—		
	HWC(共)1前室	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	○	—	—	—		
	防災倉庫	100	直付けベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
	小計																		
	交流センター	ホール	500	直付けダウンライト	リモコン	○(個別調光)	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	○	○	—	—	—	○	
ホール(廊下)		100	埋込ダウンライト	スケジュール	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
可動椅子収納		100	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
中スタジオ1-1		500	埋込ベースライト	リモコン	—	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	○	—	—	—	—		
中スタジオ1-2		500	埋込ベースライト	リモコン	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
小スタジオ1-1		500	埋込ベースライト	リモコン	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
楽器庫		100	直付けベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
講義室		500	埋込ダウンライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○(配管のみ)	
大会議室(交)1-1		500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○(配管のみ)	
和室		500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—		
和室(縁側)		100	埋込ベースライト	スケジュール	明るさセンサー	—	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
和室(収納)		100	埋込ベースライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
えんがわ工房(フリー)		500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—		
えんがわ工房(マイスター)		500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—		
えんがわ工房(陶芸窯)		300	直付けダウンライト	リモコン	—	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	—	—		
事務室(交)		500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○(リモートマイク)	○	○	—	—	—	—		
小計																			
バックヤード・動線	雑用水処理機械室	200	直付けベースライト	タンブラ	—	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
	消火ポンプ室	200	直付けベースライト	タンブラ	—	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
	受水槽室	200	直付けベースライト	タンブラ	—	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—		
小計																			
1F 合計																			

6-12. 諸元表 - 電気設備

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

階数	機能	室名	電気設備																
			照度 (lx)	照明器具	点滅制御	センサ制御	コンセント	電源容量 (VA/m ²)	電源種別 (割合は災害時対応計画による)	有線LAN 配管対応	無線LAN 配管対応	放送	TV端子	電気時計	呼出	監視カメラ ※0内は監視エリアを示す	入退室管理	映像・音響	備考
2FL	庁舎機能	執務室2(執務)	500	直付けベースライト	リモコン	人感・明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		執務室2(廊下)	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	—	—	—	—	○	—	—
		小会議室(庁)2-1	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		小会議室(庁)2-2	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		政策秘書係	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		応接室	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—
		町長室	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		大会議室(庁)2-1	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○(配管のみ)
		災害対策本部	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○(別途)
		危機管理室	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○(別途)
		人材育成係・給与係	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		待合広場2	200	直天けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	35	AC、AC/GC	OAフロア対応	○	○	○	—	—	—	—	—	—
		MWC(庁)2	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		WWC(庁)2	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
	廊下(庁)2南	100	直付けダウンライト	スケジュール	—	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	
	小計																		
	議会機能	議場	1000	直付けダウンライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC	—	○	○	○	○	—	—	—	○	—
		委員会室	500	直付けベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—
		議員控室	500	埋込ベースライト	リモコン	人感・明るさセンサー	○	—	AC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		議長・副議長室	500	埋込ベースライト	リモコン	人感・明るさセンサー	○	—	AC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		議会事務局	500	埋込ベースライト	リモコン	人感・明るさセンサー	○	—	AC	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		職員控室	300	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		MWC(議)	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		WWC(議)	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
		HWC(議)	200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—
		廊下(議)	100	直付けダウンライト	スケジュール	—	○	—	AC	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—
	小計																		
	共用機能	子育て広場	200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	(○)	—	—	—
		子育て広場(学習)	200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
		浅間山えんがわ	200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	(○)	—	—	—
		大階段S	200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		キッズ ラウンジ	200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	(○)	—	—	—
		学習広場	200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	○	—	—	(○)	—	—	—
中庭ラウンジ		200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	(○)	—	—	—	
大階段N		200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
北玄関		100	埋込ダウンライト	スケジュール	—	—	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	
給湯 コーナー2		200	直付けダウンライト	スケジュール	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	
職員ラウンジ2		300	埋込ダウンライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	○	○	—	—	○	—	—	
MWC(共)2S		200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	
WWC(共)2S		200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	
MWC(共)2N		200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	
WWC(共)2N		200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	
HWC(共)2N		200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	
HWC(共)2N 前室		200	埋込ダウンライト	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	
小計																			

6-12. 諸元表 - 電気設備

階数	機能	室名	電気設備																
			照度 (lx)	照明器具	点滅制御	センサ制御	コンセント	電源容量 (VA/m ²)	電源種別 (割合は災害時対応計画による)	有線LAN 配管対応	無線LAN 配管対応	放送	TV端子	電気時計	呼出	監視カメラ ※0内は監視エリアを示す	入退室管理	映像・音響	備考
2FL	交流センター	ホール 2階	500	埋込ダウンライト	—	—	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		調理室	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—
		中会議室(交)2-1	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		中会議室(交)2-2	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		中会議室(交)2-3	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		中会議室(交)2-4	500	埋込ベースライト	リモコン	明るさセンサー	○	—	AC、AC/GC	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		倉庫(交)2-1	100	直付けベースライト	—	—	人感センサー	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	—
	小計																		
	バックヤード	電気室	200	直付けベースライト	タンブラ	—	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—
		サーバー室	200	直付けベースライト	タンブラ	—	—	○	—	AC、AC/GC	—	○	○	—	—	—	○	○	—
		MDF室	200	直付けベースライト	タンブラ	—	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	○	—	—
	小計																		
	2F 合計																		
3F	バックヤード	空調機械室	200	直付けベースライト	タンブラ	—	—	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	
		メンテナンス用通路	200	直付けベースライト	タンブラ	—	—	○	—	AC	—	—	○	—	—	—	—	—	
	小計																		
3F 合計																			
共通	共用機能	階段S	50	非常照明兼用誘導灯	—	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
		階段N	50	非常照明兼用誘導灯	—	—	○	—	AC、AC/GC	—	—	○	—	—	—	—	—	—	
	EV-S	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	EV-N	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	バックヤード	EPS(OA)	200	直付けベースライト	タンブラ	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		EPS	200	直付けベースライト	タンブラ	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		DS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		PS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小計																		
	ビット	雑用水槽																	
		消火水槽																	
		緊急汚水槽																	
		配管ビット																	
共通 合計																			

6-12. 諸元表 - 機械設備

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

階数	機能	室名	空調						換気						空調換気		衛生			
			冷房 ℃	暖房 ℃	空調機器	停電時稼働	加湿	除湿	種別	機器	停電時稼働	人員 (人)	換気回数 回/h	換気量	備考	給水・排水	給湯	特殊 消火	備考	
1FL	庁舎機能	執務室1(執務)	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	205	-	6150		○	○			
		執務室1(会計)	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	5	-	150						
		執務室1(廊下)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
		中会議室(庁)1-1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	16	-	480						
		中会議室(庁)1-2	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	24	-	720						
		中会議室(庁)1-3	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	16	-	480						
		小会議室(庁)1-1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	6	-	180						
		小会議室(庁)1-2	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	6	-	180						
		小会議室(庁)1-3	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	6	-	180						
		相談室 1-1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120						
		相談室 1-2	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120						
		相談室 1-3	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	2	-	60						
		相談室 1-4	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120						
		相談室 1-5	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120						
		相談室 1-6	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120						
		相談室 1-7	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120						
		仕分・印刷	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120						
		職員 ラウンジ1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	18	-	540						
		静養室(男)	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	1	-	30						
		静養室(女)	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	1	-	30						
		更衣室(男)	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	5	500		○			
		更衣室(女)	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	5	500		○			
		守衛室	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	6	-	180		○	○			
		宿直室	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	1	-	30						
		金庫	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	3	100					廊下循環換気
		金庫(前室)	-	-	-	-	-	-	-	バス	-	-	-	-	-					
		書庫(庁)1	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	3	500					廊下循環換気
		倉庫(庁)1-1(G)	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	○	-	-	3	350					○ N2ガス消火
		倉庫(庁)1-2	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	3	750					廊下循環換気
		倉庫(庁)1-3	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	3	350					廊下循環換気
		清掃員室	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	-	-	-	1種	全熱交換器	-	5	-	150		○	○			
		ゴミ庫	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	10	450		○			自然給気
		MWC(庁)1	-	-	ヒーター設置	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	10	500		○			
WWC(庁)1	-	-	ヒーター設置	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	10	550		○					
WWC(庁)1ケア室	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	10	100							
HWC(庁)1	-	-	ヒーター設置	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	10	150		○					
HWC(庁)1前室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
待合広場1	28 成り行き	13 成り行き	-	-	-	-	○	○	2種	外調機	-	26	-	780						
サービス用玄関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
西玄関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
廊下(庁)1南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
廊下(庁)1相談	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
廊下(庁)1北西	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
		小計																		

6-12. 諸元表 - 機械設備

実施設計での詳細検討により、変更が生じる可能性があります。

機能	室名	空調						換気						空調換気		衛生		
		冷房 ℃	暖房 ℃	空調機器	停電時稼働	加湿	除湿	種別	機器	停電時稼働	人員 (人)	換気回数 回/h	換気量	備考	給水・排水	給湯	特殊 消火	備考
共用機能	大会議室(共)1-1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	1種	外調機	-	24	720						
	大会議室(共)1-2	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	1種	外調機	-	24	720						
	中会議室(共)1-1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	1種	外調機	-	16	480						
	小会議室(共)1-1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	6	180						
	小会議室(共)1-2	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	6	180						
	小会議室(共)1-3	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	6	180						
	住民活動センター	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	8	240						
	こども町役場	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	-	-	-	-	-	-	-						
	ハーモニー広場	28 成り行き	13 成り行き	パッケージエアコン(ビル用マルチ)床吹出	-	○	○	2種	外調機	-	26	780						
	ハーモニー広場(廊下)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	南玄関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	対話の間2	28 成り行き	13 成り行き	パッケージエアコン(ビル用マルチ)床吹出	-	-	-	-	-	-	-	-						
	四季の広場	-	-	-	-	○	○	2種	外調機	-	6	180						
	活動広場	28 成り行き	13 成り行き	パッケージエアコン(ビル用マルチ)床吹出	-	○	○	2種	外調機	-	16	480						
	カフェ	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	1種	外調機 排気ファン	-	8	240		○	○			
	東玄関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	対話の間1	28 成り行き	13 成り行き	パッケージエアコン(ビル用マルチ)床吹出	-	○	○	2種	外調機	-	16	480						
	対話の間(廊下)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	給湯 コーナー1	-	ヒーター設置	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	5	100		○	○		
	ATM コーナー	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	5	50					廊下循環換気
	電話 コーナー	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	5	50					廊下循環換気
	MWC(共)1S	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	450		○			
	WWC(共)1S	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	450		○			
	MWC(共)1N	-	ヒーター設置	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	450		○			
	WWC(共)1N	-	ヒーター設置	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	400		○			
	授乳室(共)	-	ヒーター設置	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	200		○			
	授乳室(共)前室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
HWC(共)1	-	ヒーター設置	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	200		○				
HWC(共)1前室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
防災倉庫	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	3	400					廊下循環換気	
小計										-								
交流センター	ホール	26	22	空調機	50%	○	○	1種	空調機	-	300	9000						
	ホール(廊下)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	可動椅子収納	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	3	150					廊下循環換気
	中スタジオ1-1	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	20	600						
	中スタジオ1-2	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	12	360						
	小スタジオ1-1	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	8	240						
	楽器庫	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	-	○	○	3種	排気ファン	-	-	3	150					廊下循環換気 加湿・除湿ユニット設置
	講義室	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	84	2520						
	大会議室(交)1-1	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	20	600						
	和室	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	6	180						
	和室(縁側)	-	-	-	-	-	-	3種	全熱交換器RA	-	-	3	100					
	和室(収納)	-	-	-	-	-	-	3種	全熱交換器RA	-	-	3	100					
	えんがわ工房(フリー)	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	9	270						
	えんがわ工房(マイスター)	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	6	180						
	えんがわ工房(陶芸窯)	-	-	-	-	-	-	1種	給排気ファン	-	-	10	500					窯の換気量確認
事務室(交)	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	5	150							
小計																		
バックヤード ・動線	雑用水処理機械室	-	-	-	-	-	-	1種	給排気ファン	-	-	4	400					
	消火ポンプ室	-	-	-	-	-	-	1種	給排気ファン	-	-	4	350					
	受水槽室	-	-	-	-	-	-	1種	給排気ファン	-	-	4	700					
小計																		
1F 合計																		

6-12. 諸元表 - 機械設備

機能	室名	空調						換気						空調換気		衛生		備考
		冷房 ℃	暖房 ℃	空調機器	停電時稼働	加湿	除湿	種別	機器	停電時稼働	人員 (人)	換気回数 回/h	換気量	備考	給水・排水	給湯	特殊 消火	
庁舎機能	執務室2(執務)	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	51	-	1530		○	○		
	執務室2(廊下)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	小会議室(庁)2-1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120					
	小会議室(庁)2-2	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	8	-	240					
	政策秘書係	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	4	-	120		○	○		
	応接室	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	10	-	300					
	町長室	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	1	-	30					
	大会議室(庁)2-1	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	100%	○	○	2種	外調機	○	32	-	960					
	災害対策本部	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	100%	○	○	2種	外調機	○	20	-	600					
	危機管理室	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	100%	○	○	2種	外調機	○	2	-	60					
	人材育成係・給与係	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	5	-	150					
	待合広場2	28 成り行き	13 成り行き	-	-	-	-	2種	外調機	-	14	-	420					
	MWC(庁)2	-	-	ヒーター設置	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	450		○			
	WWC(庁)2	-	-	ヒーター設置	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	450		○			
廊下(庁)2南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
小計																		
議会機能	議場	26	22	空調機		○	○	1種	空調機	-	60	-	1800					
	委員会室	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	50%	○	○	2種	外調機	-	44	-	1320					
	議員控室	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	20	-	600					
	議長・副議長室	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	10	-	300					
	議会事務局	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	4	-	120		○	○		
	職員控室	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	12	-	360					
	MWC(議)	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	500		○			
	WWC(議)	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	450		○			
	HWC(議)	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	150		○			
	廊下(議)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
小計																		
共用機能	子育て広場	28 成り行き	13 成り行き	-	-	○	○	2種	外調機	-	17	-	510					
	子育て広場(学習)	28 成り行き	13 成り行き	パッケージエアコン(ビル用マルチ)床吹出	-	○	○	2種	外調機	-	20	-	600					
	浅間山えんがわ	28 成り行き	13 成り行き	-	-	○	○	2種	外調機	-	8	-	240					
	大階段S	28 成り行き	13 成り行き	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	キッズ ラウンジ	28 成り行き	13 成り行き	パッケージエアコン(ビル用マルチ)床吹出	-	○	○	2種	外調機	-	2	-	60					
	学習広場	28 成り行き	13 成り行き	パッケージエアコン(ビル用マルチ)床吹出	-	○	○	2種	外調機	-	18	-	540					
	中庭ラウンジ	28 成り行き	13 成り行き	パッケージエアコン(ビル用マルチ)床吹出	-	○	○	2種	外調機	-	8	-	240					
	大階段N	28 成り行き	13 成り行き	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	北玄関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	給湯 コーナー2	-	-	ヒーター設置	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	5	300		○	○		
	職員ラウンジ2	27	21	パッケージエアコン(ビル用マルチ)	-	○	○	2種	外調機	-	12	-	360					
	MWC(共)2S	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	450		○			

6-12. 諸元表 - 機械設備

階数	機能	室名	空調						換気						空調換気		衛生	
			冷房 ℃	暖房 ℃	空調機器	停電時稼働	加湿	除湿	種別	機器	停電時稼働	人員 (人)	換気回数 回/h	換気量	備考	給水・排水	給湯	特殊 消火
		WWC (共)2S	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	400		○		
		MWC (共)2N	-	ヒーター設置	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	450		○		
		WWC (共)2N	-	ヒーター設置	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	400		○		
		HWC (共)2N	-	ヒーター設置	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	10	200		○		
		HWC (共)2N 前室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		小計																
2FL	交流センター	ホール 2階	27	21	空調機	50%	○	○	1種	空調機	-	8		240				
		調理室	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	100%	-	-	1種	全熱交換器	○	28		840	IH用排気	○	○	
		中会議室(交)2-1	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	28		840				
		中会議室(交)2-2	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	8		240				
		中会議室(交)2-3	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	8		240				
		中会議室(交)2-4	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	50%	-	-	1種	全熱交換器	-	8		240				
		倉庫(交)2-1	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-		3	250	廊下循環換気		
			小計															
	バックヤード	電気室	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	100%	-	-	1種	給排気ファン	○		5	4300				
		サーバー室	27	21	パッケージエアコン(店舗用)	100%	-	-	1種	給排気ファン	○		3	600			○	N2ガス消火
MDF室		27	21	パッケージエアコン(店舗用)	100%	-	-	1種	給排気ファン	-		3	250					
		小計																
2F 合計																		
3F	バックヤード	空調機械室	-	-	-	-	-	-	1種	給排気ファン	-		1	900				
		メンテナンス用通路	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-					
		小計																
3F 合計																		
共通	共用機能	階段S	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		階段N	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		EV-S	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		EV-N	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	バックヤード	EPS(OA)	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	100	廊下循環換気			
		EPS	-	-	-	-	-	-	3種	排気ファン	-	-	-	100	廊下循環換気			
		DS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
		PS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
			小計															
	ピット	雑用水槽																
消火水槽																		
緊急汚水槽																		
EVピット 配管ピット																		
共通 合計																		
屋内用途面積																		
屋外 (面積算定範囲)	ポーチ(屋外)																	
	駐輪場																	
	室外機置場(交)																	
	浅間山テラス																	
	設備機器 搬入用 デッキ																	
	室外機置場(3F)																	
	搬入スペース																	
屋外面積 合計																		
延べ面積(屋内用途面積+屋外面積)																		